

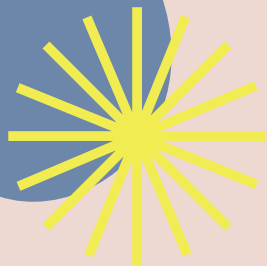
Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit, sed do eiusmod tempor incididunt ut labore et dolore magna aliqua. Ut enim ad minim veniam, quis nostrud exercitation ullamco laboris nisi ut aliquip ex ea commodo consequat.

Duis aute irure dolor in reprehenderit in voluptate velit esse cillum dolore eu fugiat nulla pariatur. Excepteur sint occaecat cupidatat non proident, sunt in culpa qui officia deserunt mollit anim id est laborum. Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit, sed do eiusmod tempor incididunt ut labore et dolore magna aliqua. Ut enim ad minim veniam, quis nostrud exercitation ullamco laboris nisi ut aliquip ex ea commodo consequat.

Duis aute irure dolor in reprehenderit in voluptate velit esse cillum dolore eu fugiat nulla pariatur. Excepteur sint occaecat cupidatat non proident, sunt in culpa qui officia deserunt mollit anim id est laborum.

2025

vol.77



いい旅 いい仲間

株式会社

富士国際旅行社

FUJI INTERNATIONAL TRAVEL SERVICE

since 1964

いい旅いい仲間

vol.77

2025年4月1日 発行

■発行：株式会社 富士国際旅行社
〒231-0062 神奈川県横浜市中区桜木町 1-1-7

ヒューリックみなとみらい 11F-4

☎ 045-212-2101

旅行業務スタッフ募集



平和・環境・福祉などの視察と交流の旅、自然・芸術・歴史にふれる感動の旅など、
ほんものの旅づくりにチャレンジしてみませんか？

正社員募集

旅行業務全般（企画営業・手配・添乗）

①2025年9月から働ける方（中途）

②2026年3月卒業見込の方（新卒）

◆履歴書・自己紹介・志望動機（自筆800字
くらい）をお送り下さい。

◆会社訪問：随時対応いたします。お気軽に
お問合せください。

パート・アルバイト募集

旅行業務（電話対応・事務・pc入力など）

◎未経験者可

◎勤務時間：11:00～18:00で要相談

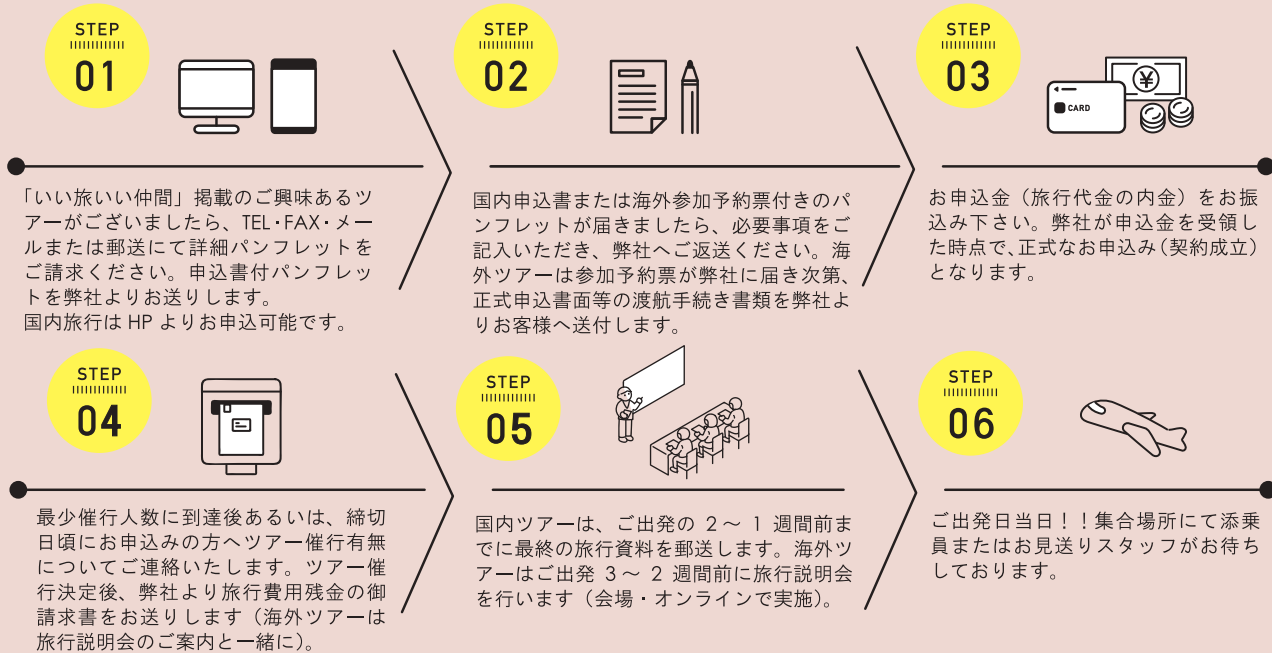
◎時給：1,200円～

◎交通費支給（規程による）

◆まずはメール・お電話でお問い合わせ下さい。

e-mail：henshu@fits-tyo.com TEL：045-212-2101

ツアーお申込みから出発までの流れ



いい旅いい仲間

観光庁長官登録旅行業第84号 JATA 正会員

■発行：株式会社富士国際旅行社® 『富士国際』は当社の登録商標です

TEL 045-212-2101 / FAX 045-212-2201

メール：henshu@fits-tyo.com

<営業日>月曜～金曜（10:00～18:00）土日祝休み

〒231-0062 神奈川県横浜市中区桜木町 1-1-7

ヒューリックみなとみらい 11F-4

<http://www.fits-tyo.com/>

富士国際旅行社

🔍 検索



facebook、X(旧twitter)
で旅情報を発信中！





2024/12/8-12/13

日本被団協ノーベル平和賞授賞式ツアーレポート



日本被団協ノーベル平和賞受賞、誠におめでとうございます。ノーベル平和賞授賞式のツアーに同行した添乗員からの現地レポートをお届けします♪

——ご出発日の朝は羽田空港にて、代表と事務局の方はプレス対応もしなければならない中でチェックインをし、慌ただしい中、無事に出国。コペンハーゲン経由でオスロに到着したのは現地時間の夜8時。代表の3名様は到着の搭乗機のドアからお迎えがあり、厳戒態勢の中、別行動でホテルへ向かわれました。代表団の皆様も到着ロビーで大勢の関係者のお迎えを受けて、ノーベル委員会が用意してくださったバスでホテルへ。宿泊はオスロのグランドホテル。町の目抜き通りに面したオスローのホテルです。ロビーには折り鶴のオーナメントが飾られたクリスマスツリー。ホテルの方の歓迎の心遣いが嬉しかったです。

2日目には2017年にノーベル平和賞を受賞されたICANの川崎さんのご案内でホテル周辺を散策。予想とは違って路上は積雪も凍結もなく天気にも恵まれました。通りに設置された移動観覧車の中央には折り鶴の映像が。町をあげての歓迎ムードを感じました。比較的ゆっくりできたのはこの一時くらいで、あとは皆様現地での交流、取材、式典などに追われるハードスケジュールでした。

ハイライトは何といっても授賞式とその後のたいまつパレード。パレードがホテル前に到着すると、代表の3名様はコートも羽織らずにバルコニーから長い間手を振られている光景が忘れられません。パレード参加者からの「ノーモアヒロシマ、ノーモアナガサキ」の声がいつまでも耳に残りました。あっという間の6日間でした。最後の帰国便では授賞式帰りということに気がついた航空会社から、離陸時と着陸時の2度もお祝いのメッセージがありました。代表団の皆様、関係者の皆様、本当にお疲れ様でした。

2 日本被団協ノーベル平和賞授賞式ツアーレポート
新入社員紹介

3 目次

4-5 韓国ツアー特集

6 台湾・フィリピンツアー

7 インドネシア・スリランカツアー

8 響けベトナム女性政治囚のうたごえ！

9 ベトナム・ラオスツアー

10-11 中国ツアー特集

12 脱植民地化への連帯を育む旅
——サイパン・テニアン、フィリピン、グアム

13 軍事化とたたかう草の根運動との交流の旅

14-15 ベネズエラ大使インタビュー

16-17 キューバ大使インタビュー

18 ネルソンマンデラの足跡をたどる南アフリカ

19 スペイン内線とゲルニカ・スペインポルトガル

20 マルクス・エンゲルスゆかりの地を訪ねて
—イギリス編—

21 リトアニア・ポーランドの旅

22-23 NPO法人Kokoro アウシュビッツスタディツアー

24 クロアチアへの旅

25 フィンランド・デンマーク2カ国周遊

26-27 チェコツアー特集

28-29 スイスツアー特集

30 「原発ゼロ」の国ドイツ

31 ドイツツアー特集

32 アンネ・フランクの足跡を訪ねる旅／

レジスタンス運動を学びイタリア3都市を巡る旅

33 「ひとりにしない」という支援 NPO法人抱撲

34 多くの人に知ってもらいたい「新潟水俣病」

35 北海道平和の旅／国内 自然・山の旅

36 南西諸島をめぐる旅・奄美大島

37 南西諸島をめぐる旅・沖縄

38-39 テーマのある旅 国内ツアー特集

2025年春新入社員紹介



PROFILE

徳重遼（とくしげ・りょう）

この度、新入社員として富士国際旅行社に入社することになりました、徳重遼と申します。大学ではスペイン語を専攻しておりました。趣味は旅行、キャンプ、スキューバダイビングなどで、自然に触れることが好きです。学生時代、スペインで闘牛という文化が存続の危機であることを知り、そこから文化と観光の関わりについて興味を持ちました。一日でも早く皆様のお役に立てるよう精一杯頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



PROFILE

川村結嬉（かわむら・ゆうき）

4月から入社いたしました川村結嬉です。高校時代に富士国際旅行社の旅行に参加したことがきっかけで、現地に行って学ぶことの重要さや観光が地域にもたらす影響力を実感し、大学でも観光学を専攻していました。私自身も旅行が大好きで留学やスタディツアーなどで国内外様々な場所を巡ってきました。旅先での人、歴史、文化、食など様々な出会いを通じて自分の人生を豊かにすることを大切にしています。旅行の企画や添乗を通じて、みなさまの旅をより充実したものにできるように精一杯頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。



PROFILE

伊藤聖矢（いとう・せいや）

山形県酒田市という港町の出身です。この3月に神戸大学大学院修士課程を終了しました。ESD（持続可能な開発のための教育）を専攻し、特に海外スタディツアーに着目して研究をしました。旅行が好きで、趣味や興味関心を生かした仕事にこの度就けることになり、嬉しく思います。スタディツアーに参加された方々が様々な学びを通じて、持続可能な社会づくりに参加できる契機となるようなツアーを企画していけたらと思っています。

2

非核・平和大会に参加！

韓国縦断 平和と文化の旅 7日間 2025年8月2日（土）～8月8日（金）280,000円

募 20名 催 15名 添 ※燃油等別途

- ◆なかなか行けない、聞慶や陝川を訪れ、非核・平和大会に参加
- ◆「屋根のない博物館」といわれるほど歴史的な見どころ満載の慶州で文化探訪

【旅程】

- ①成田または羽田発、ソウルへ、景福宮・タブコル公園見学【ソウル泊】
- ②ソウル市内見学（大韓民国臨時政府記念館・西大門刑務所）【ソウル泊】
- ③陸路、聞慶へ、朴烈義士記念館見学、陝川（ハプチョン）へ、海印寺見学【大邱泊】
- ④陝川原爆被害者福祉会館訪問、非核・平和大会参加 【大邱泊】
- ⑤慶州へ、国立慶州博物館・石窟庵・仏国寺・民俗芸芸村見学、釜山へ【釜山泊】
- ⑥釜山見学（国立日帝強制動員歴史館・釜山タワー・龍頭山公園・国際市場など）【釜山泊】
- ⑦出発まで自由行動、釜山発、成田着



3

ハンセン病の歴史を考える
小鹿島を訪ねる旅 4日間

2025年9月30日（火）～10月3日（金）190,000円

募 20名 催 15名 添 ※燃油等別途



- ◆小鹿島で、日本の植民地支配とハンセン病について考える
- ◆麗水・釜山の街散策もお楽しみに♪

【旅程】

- ①成田発、釜山へ、国立日帝強制動員歴史館など見学【釜山泊】
- ②小鹿島見学（国立小鹿島病院ハンセン病博物館、中央公園など）、麗水へ【麗水泊】
- ③愛養園見学、麗順事件関連地見学、麗水海上ケーブルカー観光【麗水泊】
- ④釜山へ、国際市場・甘川文化村など見学、釜山発、成田着

4

済州4・3の歴史を訪ねる旅 5日間 2025年11月19日（水）～11月23日（日）195,000円

募 20名 催 15名 添 ※燃油等別途



- ◆4・3平和記念館や済州4・3関連地をじっくり見学
- ◆済州の美食と雄大な自然を堪能♪

【旅程】

- ①成田・関西発、済州島へ【済州市内4泊】
- ②済州市内見学（三姓穴・観徳亭・済州島民俗自然史博物館など）、4・3平和記念館、北村など見学
- ③失われた村東広里・アルトゥル飛行場跡地・ソダルオルムなど見学
- ④海女博物館・トジンモク虐殺地・城山日出峰見学
- ⑤空路、直行便または乗り継ぎ便で、成田・関空へ

個人旅行もスタディツアーで！

モデルプラン＜ソウル歴史散策・3日間＞

- ①ご希望の出発空港発、ソウル市内見学（景福宮・西大門刑務所・北村・西村散策）
- ②植民地歴史博物館見学・南山フィールドワーク・戦争と女性の人権博物館見学
- ③出発まで自由行動・午後、ソウル発、ご希望の空港へ

学びたいテーマにあわせてプランをご提案します♪

韓国民主化の歴史について学びたい！・・・民主人權記念館、李韓烈記念館など
教育・人権について学びたい！・・・peace momo（平和教育NPO）、参与連帯など



1

円光大学校名誉教授 朴孟洙先生 同行・解説

民主化運動の歴史を訪ねる 光州・羅州・木浦の旅 5日間

募 20名 催 15名 添

2025年5月16日（金）～5月20日（火）250,000円 ※燃油等別途

- ◆光州民主化運動記念式典に出席、運動の現場を訪ねます
- ◆東学農民革命ゆかりの地、羅州を訪問
- ◆木浦から足を延ばして、緑茶の産地として有名な宝城にも訪ねます♪

【旅程】

- ①成田空港発、清州（チョンジュ）着、専用車で光州へ 光州市民の方々と交流会【光州泊】
- ②光州事件関連地見学（全南大学 ＊国立5.18民主墓地 ＊旧全南道庁 ＊5.18記録館）夕食後、5.18記念式典前夜祭見学【光州泊】
- ③国立5.18民主墓地で行われる記念式典に参加
午後：羅州へ（東学農民運動ゆかりの地、東学農民軍犠牲者を悼む謝罪の碑、羅州宮三面抗日農民運動記念碑見学）【羅州泊】
- ④陸路、木浦へ（木浦近代歴史館、金大中の受賞を記念して建てられたノーベル平和賞記念館見学）昼食後、宝城へ、大韓茶園見学【木浦泊】
- ⑤木浦市内見学、清州空港へ 午後：清州発、成田空港着

01。

過去が現在を助けることはできるのか？
死者が生者を救うことはできるのか？

1980年の5・18民主化運動から、今年で45年が経とうとしています。
2024年12月、突如発令された戒厳令に反応して、深夜にも関わらず多くの市民が国会前に結集しました。1980年の光州の記憶が市民たちを奮立たせました、
5・18の精神は、大同世上（テドンセサン）、すなわち分かち合いと団結の精神です。誰かがリードした訳でもなく、市井の人々によって自発的に形成された温かい連帯の精神。これはデモを続ける人たちに、市民が協力して配ったおにぎりにも象徴されます。

ツアーで交流会の会場になるのは、約3万点の民具が集められたピウム博物館です。イ・ヨンファ館長は30代で光州事件を経験し、時折戒厳軍に追い立てられ逃げてきた若者たちをかくまっては、不安な日々を送ったといっています。毎年5月の特別展示期間

には、犠牲になった人々への追悼と、連帯の精神を引き継ぐ気持ちでおにぎりを提供しています。
2024年のノーベル文学賞を受賞したハン・ガン作家の「過去が現在を助けることはできるのか？死者が生者を救うことはできるのか？」「世界は何故こんなにも暴力的で苦痛に満ちているのか？同時に世界は何故こんなにも美しいのか？」という言葉が響きます。
今年の5月はずいぶん、光州を訪れてみませんか？

8日間

旧日本軍の加害の歴史を学ぶインドネシアの旅



①2025年9月1日（月）～8日（月）
②2025年11月4日（火）～11月11日（火）
385,000円 燃油別途 募 20名 催 10名 添

旅程
①午前：成田発インドネシアの首都ジャカルタへ、到着後ホテルへ【ジャカルタ2泊】②終日：ジャカルタ市内見学（独立の歴史やインドネシア人労働者の苦難について展示されている独立広場内博物館。元日本軍慰安所の跡地、元兵補の二世三世の方と交流）③空路、ジャカルタ発、ジョグジャカルタへ ソロ・スラカルタ見学（日本軍「慰安婦」問題の関連地を見学、証言者の方のお話）【ジョグジャカルタ2泊】④クラトン（王宮）で伝統舞踊見学、ソノブド博物館、世界最大級の仏教遺跡「ボロブドゥール」、プランバナン寺院遺跡群見学 ⑤ジョグジャカルタ発、再びジャカルタへ。陸路、バンドンへ【バンドン2泊】⑥バンドン市内見学（バンドン会議博物館・サウンアンクルンウジョ）⑦陸路、再びジャカルタへ夕食後空港へ 夜、ジャカルタ発⑧早朝、成田帰国

8日間

スリランカ 「光輝く島」の文化遺産と現在を訪ねる旅



2025年6月8日（日）～6月15日（日）
388,000円 燃油別途 募 20名 催 10名 添

◇政変後のスリランカを訪問し現在の状況学びます
◇世界遺産や国立公園を見学します

旅程
①成田空港集合 空路 スリランカへ 陸路コロンボへ。
②世界遺産 アヌラダブラ遺跡見学
③シーギリヤロック見学 ミンネリア国立公園にて象の群れ鑑賞
④タンブッラ石窟寺見学 キャンディ市内見学
⑤ヌワラエリヤで紅茶の試飲と茶摘み体験
⑥コロンボ市内見学（国立博物館・オランダ時代博物館）
⑦病院または学校見学 空路帰国の途へ
⑧成田空港着後 解散



pick up

スリランカ学習会
2025年4月12日（土）14時～16時
会場：富士国際旅行社会議室
「最新のスリランカ報告」
LAD PALITHA氏（ノジリインターナショナルトレイド代表）

5日間

日本アジア・アフリカ・ラテアメリカ連帯委員会（日本AALA）企画
台北・金門島・厦門から平和をかんがえる 第2回平和のための市民交流の旅

2025年5月18日（日）～5月22日（木）
278,000円 燃油別途 募 30名 催 15名 添

◇金門島に2泊します。金門島からフェリーで厦門日帰り見学
◇台湾平和勢力の方々と交流

旅程
①羽田・関空発、台北へ 二二八和平紀念公園 二二八公園【台北泊】
②台北から国内線で金門島へ 金門島内見学【金門島2泊】
③金門島からフェリーで厦門へ。厦門見学。フェリーで金門島へ
④金門島 空路台北へ 台湾平和勢力と交流会【台北泊】
⑤台北市内見学（国家人権博物館など）台北発、羽田・関空へ

4日間

台湾・台北・金門島 平和と人権を市民同士でかんがえる旅



2025年7月13日（日）～7月16日（水）
245,000円 燃油別途 募 20名 催 10名 添

◇台湾民主化運動について学びます
◇厦門から約2kmにある金門島を日帰りで見学します

旅程
①羽田・関空発、台北へ 二二八紀念館 二二八和平公園【台北3泊】
②国家人権博物館、アマの家・平和と女性博物館
③台北から国内線で金門島へ 終日金門島見学 再び台北へ
④台北市内見学（国家人権博物館など）台北発、羽田・関空へ

6日間

米軍基地を撤去させたスービックと市民の力で稼働を止めたパターン原発見学
戦後80年企画 フィリピン歴史探訪

2025年8月24日（日）～8月29日（金）
345,000円 燃油別途 募 20名 催 10名 添

◇戦後80年、マニラ市街戦跡地訪問や神風特攻隊出撃の地、パターン死の行軍跡を見学
◇長年フィリピン在住の日本人ガイドHIDEKOさん同行・解説！

旅程
①成田発、マニラ クラークへ【クラーク泊】
②神風特攻隊出撃地・西飛行場跡など スービックへ移動【スービック泊】
③スービック元海軍基地など 午後：パターン原発施設見学【パターン泊】
④パターン半島死の行軍関係見学【マニラ泊】
⑤＜マニラ市街戦跡地＞アメリカ人墓地・マニラ防衛司令部など【マニラ泊】
⑥自由行動、マニラ発、成田着

7日間

元ベトナム特派員鈴木勝比古さんが同行・解説
ベトナム縦断の旅 7日間2025年8月19日（火）～8月25日（月）
388,000円 燃油別途

募 20名 催 10名 添

- ◇化学毒薬やダイオキシンの枯葉剤で苦しむ元兵士や子どもたちが暮らす「ハノイ国際友好村」を見学
- ◇「海のホーチミンルート」著者ゲン・ゴックさん宅訪問
- ◇元女性政治囚の方と交流
- ◇ホーチミン市内を一望できるスカイデッキを見学
- ◇今年1月に開通した地下鉄に乗車



- ①午前：成田/関西発、ハノイ着 鈴木勝比古さん講演会【ハノイ2泊】
- ②ハノイ市内見学（ホーチミン廟など）、都市鉄道体験乗車、ハノイ国際友好村
- ③B52博物館、ハノイ発、空路ダナンへ、バスでホイアンへ、ゲン・ゴックさん講演【ホイアン2泊】
- ④ホイアン旧市街、午後：自由行動
- ⑤ダナンから空路ホーチミン市へ、統一会堂、戦争証跡博物館、スカイデッキなど【ホーチミン泊】
- ⑥フオックハイへ、元船長の方と懇談、ホーチミン市へ【機中泊】
- ⑦午前：成田/関西着



フォトジャーナリスト・中村梧郎さんで行く“旅”シリーズ

最南端カマウ岬

ベトナム戦争の爪痕と現在を訪ねるベトナム南部の旅

2025年9月30日（火）～10月6日（月）
378,000円 燃油別途

募 20名 催 8名 添

- ◇最南端の地カマウ省。約45年前、中村梧郎さんが枯葉剤による枯死の森で出会った故フン少年の家族を訪ねます
- ◇ベトナム戦争や枯葉剤問題を知り、次世代にも続く被害の実態を学びます
- ◇近代化するホーチミン市やエコツーリズム産業に力を入れるカマウの現在を訪ねます

- ①成田・関西発、空路ホーチミン市へ、ホーチミン市内見学【ホーチミン市2泊】
- ②ホーチミン市内見学（戦争証跡博物館・枯葉剤被害者支援施設など）
- ③空路、最南端カマウへ、船でナムカン県へ、枯葉剤犠牲者故フンさんのご家族訪問【カマウ2泊】
- ④世界最大のマングローブ湿地帯見学とエコツアー、カマウ省周辺見学
- ⑤空路、再びホーチミン市へ 着後：市内見学（新しくできた地下鉄乗車、街散策など）【ホーチミン市1泊】
- ⑥夕方まで：自由行動（OPあり）、夕食後空港へ【機中泊】
- ⑦夜中、ホーチミン空港発、空路、帰国の途へ。朝、成田・関西着

中村梧郎さんで行くラオス

世界遺産ジャール平原と山岳民族の村を訪ねる旅

2025年11月26日（水）～12月3日（水）
385,000円 燃油別途

募 20名 催 8名 添

- ◇ベトナム戦争中、米軍の激しい空爆を受けたシェンクワーン県やラオス愛国戦線パテートラオの活動拠点であったビエンサイを訪ねます
- ◇中村梧郎さんが当時取材した場所を訪れ、ベトナム戦争やラオス独立運動について学び、不発弾問題を考えます
- ◇謎に包まれた巨大な石壺が多数存在するジャール平原を訪ねます
- ◇ラオスの伝統文化や音楽、郷土料理もお楽しみください

- ①成田発、空路経由地で乗り換え、ラオスの首都ビエンチャンへ【ビエンチャン2泊】
- ②ビエンチャン見学（仏教寺院、不発弾被害について学ぶCOPEビジターセンターなど）
- ③空路、ビエンチャンから織物の産地のサムヌアへ、サムヌアから専用車でビエンサイへ ベトナム戦争中、米軍の激しい空襲を受けたビエンサイ洞窟を見学【サムヌア泊】
- ④空路、再びサムヌアからビエンチャンへ【ビエンチャン1泊】
- ⑤空路、ビエンチャンからシェンクワーンへ 午後：街散策【シェンクワーン2泊】
- ⑥午前：ジャール平原へ（巨大な石壺群見学）
- ⑦空路、シェンクワーンからビエンチャンへ 夜、空路、ビエンチャンから経由地で乗り換えて帰国の途へ
- ⑧早朝：成田空港着

響けベトナム女性政治囚のうたごえ！

50年のときを超え、平和と幸せへの願いを込め、今秋来日公演！



ホンニヤットさんの投獄期間はコンダオ島を含め6年9カ月でした。音符が読めて、きれいな声のホンニヤットさんは獄中の歌のリーダーでした。私が彼女と知り合い、招待した日本人ツアー客との夕食会でも歌ってくれました。「人生はなんとすばらしい」「もし私が鳥であつたら」などのロマンチックで、楽天的な歌詞の内容に驚きました。「現実が過酷であるほど、歌は楽天的になります」と語りました。コンダオ島の獄中生活は過酷を極め、くさったヌクマム（ベトナムの魚醬）をごはんにかけて食べ、獄外に出ての汚物処理を含めた洗濯時間はわずか10分間、入浴もさせなかったといいます。「生理の時に入浴できずチリ紙や布切れがないときほど、みじめな思いをしたことはない」と語りました。

アメリカのベトナム侵略戦争には南部の広範な人々が抗議行動に参加したため、米・サイゴン政権は手当たり次第に抗議する人々を捕らえ、拘禁しました。武器を持たず、この侵略戦争に

平和的に抗議し、投獄された、いわゆる政治囚は1973年6月1日現在で20万2000人にのぼりました（南ベトナム監獄制度改革委員会の推計）。

ベトナム戦争終結50周年の今年の1月と2月の2回の日本のツアー・グループとの交流で、元政治囚のグループの合唱には獄中闘争の場面が入りました。拷問で傷つき、横たわる仲間を介抱する場面です。こうしたいわいりや助け合いなど仲間たちの思いやりがみなを奮い立たせたのだとわかりました。

元政治囚のうたごえグループの活動は、世代継承への活動に発展しています。サイゴン市内の小学校などで記念行事がある際には、彼女たちは喜んで参加して、かつての獄中闘争の姿を子供たちに歌やミュージカルで示します。2017年1月にホーチミン市文化大学の講堂で開催した日本とベトナムのうたごえ交流会には、反核運動を象徴する「青い空は」の作曲者、大西進さんと作詞者の小森香子さんが参加し、「青い空は」を日本語とベトナム語で交互に合唱しました。注目したのは、この交流会を鑑賞した文化大学の学生たちが、元政治囚の不屈の獄中闘争を知って、感激し大きな拍手を送っていた光景です。ベトナム戦争を知らないベトナムの学生たちは、政治囚の女性たちが不屈にたたかう姿を初めて目の当たりにしたのです。

今回、11月に予定される元政治囚の女性コーラス・グループの来日公演は、日本のベトナム人民支援運動が、ベトナムの政治囚釈放運動に力をつくしたことへの感謝が込められています。

鈴木勝比古（すずき・かつひこ）

元ベトナム特派員鈴木勝比古さんが同行・解説
ベトナム戦争終結50年 ホーチミン5日間2025年6月23日（月）～6月27日（金）
288,000円 燃油別途

募 20名 催 10名 添

- ①成田/関西発（午前）ホーチミン 鈴木勝比古さん講演会【ホーチミン泊】
- ②統一会堂、戦争証跡博物館、地下鉄乗車体験、サイゴンスカイデッキ【ホーチミン泊】
- ③フオックハイ（海のホーチミンルート）【ホーチミン泊】
- ④元政治囚との交流 ベンタイン市場 【機中泊】
- ⑤成田/関西着（午前）

ベトナム南部の中心都市サイゴン（公式名、ホーチミン市）の青年文化会館で、サイゴンの元政治囚の女性コーラス・グループの人たちの年齢を感じさせない、張りのある澄んだ歌声が響きました。

このグループのリーダーであつた故ダン・ティ・ホンニヤットさん（1936年〜2016年）と知り合ったのは、彼女が亡くなる数年前でした。サイゴン市内の自宅を訪れた私を前に、夜が更けるのも気にしないで語ってくれました。1975年4月30日の南ベトナム完全解放後、解放されたサイゴンの元政治囚の女性たちは、ベトナム国民のもっとも楽しい祝いの日々、テト正月（ベトナムの旧暦の正月）の1月6日（旧暦）に、市内の南部女性博物館の集会場で、牢獄からの解放とその後の健康・幸福を祝つて、毎年、集まりを持つようになりました。この集まりで歌や踊りを披露するために、コーラス・グループができ、練習を重ねてきたと言います。

彼女たちはコンダオ島の「トラの檻」をはじめとする過酷な監獄で、サイゴン政権の看守たちの拷問に屈せず、たたかいぬいた人々です。その支えになったのが「うたごえ」でした。うまく歌えても称賛されるどころか、「歌えば歌うほど、ひどく殴打された」（ホンニヤットさん）と言います。

ベトナム元女性政治囚の
コーラスグループとうたごえ交流会2025年11月16日（日）に開催決定！
詳細は後日発表



04

5日間 南京・上海近代史と文化探訪

2025年6月25日（水）～6月29日（日）
2025年8月27日（水）～8月31日（日）
2025年12月24日（水）～12月28日（日）
249,000円 燃油別途 募 30名 催 15名 添

◇70周年を機に展示がリニューアルされた南京大虐殺紀年館をじっくり見学
◇中国最大の都市上海では旧日本租界時代と今を考えます

①昼：成田発、直行便で南京へ 着後：ホテルへ【南京2泊】②終日：南京市内見学（南京大虐殺記念館・民間抗日战争博物館）③午前：南京市内見学（太平天国博物館・豫園・総督府・美麗宮）高速鉄道で上海へ【上海2泊】④終日：上海市内見学（旧日本租界・魯迅公園と記念館・旧フランス租界・孫中山故居記念館）⑤午前：上海市内見学（ユダヤ博物館・かつての歓楽街の福州路）夕刻：直行便で羽田または成田空港に帰着



02

6日間 戦争遺跡見学と歴史散策の旅
～上海・重慶・西安～

2025年7月13日（日）～7月18日（金）
2025年10月12日（日）～10月17日（金）
265,000円 燃油別途 募 30名 催 15名 添

◇日本軍による6年間もの無差別大空襲で多くの犠牲を出した重慶を見学します
◇始皇帝の陵墓を護るために制作された「秦始皇帝兵馬俑博物館」や「秦始皇帝陵」が西安を訪れます

①午前：成田発、直行便で上海へ 着後：「東洋のウォール街」外灘見学【上海泊】②午前：上海市内見学（魯迅公園・魯迅の墓・豫園）、夕刻：空路、重慶へ【重慶2泊】③終日：重慶市内見学（重慶大爆撃惨案遺跡陳列館・周公館・桂園・磁器口古鎮）④午前：空路、古都西安へ 午後：西安市内見学（青龍寺・三蔵法師縁の大雁塔）【西安2泊】⑤終日：西安見学（秦始皇帝兵馬俑博物館・秦始皇帝陵・華清池・西安城壁・鐘楼）⑥午前：西安発～乗継地～午後：成田空港に帰着

03

8日間 興安嶺と大草原を満喫する東清鉄道濱州線探訪
～ハルビン～チチハル～牙克石～満州里～

①2025年6月25日（水）～7月2日（水）
②2025年8月27日（水）～9月3日（水）
①290,000円 ②295,000円 燃油別途 募 30名 催 15名 添

◇旧満州鉄道の遺構を巡ります
◇夏の時期に訪れ戦後80年の今を考えます

①午前：成田発、直行便でハルビンへ 着後：ハルビン市内見学（中央大街）【ハルビン泊】②午前：列車でチチハルへ 着後：札龍自然保護区と日本ゆかりの地を見学【チチハル泊】③終日：旧満州鉄道の遺構巡り（昂昂溪旧駅舎・扎蘭屯旧駅舎・給水塔）【扎蘭屯泊】④午前：歴史文化名鎮博克図見学 午後：旧東清鉄道建築群（機関庫・トンネル）【牙克石泊】⑤終日：旧満州鉄道の遺構巡り（牙克石給水塔・ハイラル旧駅舎）【満州里泊】⑥終日：満州里見学（鉄道遺構・呼倫湖・草原部落）夕刻：空路ハルビンへ【ハルビン2泊】⑦終日：ハルビン見学（旧鉄道局・鉄道クラブ・旧香坊駅と給水塔・ハルビン駅・安重根記念館・旧日本領事館）夜：旧大和ホテルで夕食⑧午前：ハルビン発 直行便で成田空港に帰着

中国を訪れる旅

特集



01

侵華日軍南京大屠殺遇難同胞記念館（南京）の和平公園モニュメント

6日間 中国東北部を訪ねる旅
～大連・瀋陽・ハルビン～

2025年5月16日（金）～5月21日（水）
2025年7月11日（金）～7月23日（水）
2025年9月12日（金）～9月17日（水）
2025年11月7日（金）～11月12日（水）
259,000円 燃油別途 募 30名 催 15名 添

◇中国へのビザ免除渡航が再開されました！
◇ハルビンでは日本人残留孤児養父母連絡会の方と交流します。

①午前：成田発、直行便で大連へ 着後：大連市内見学（大連港・中山広場）【大連2泊】②終日：日清・日露戦争の激戦地 旅順見学（203高地・水市営会見所・監獄）③午前：列車で瀋陽へ 着後：瀋陽と撫順見学（九・一八博物館・平頂山遺骨館）【瀋陽泊】④午前：柳条湖事件現場「北大営」、張作霖爆殺現場、午後：列車でハルビンへ【ハルビン2泊】⑤午前：731部隊罪証陳列館見学 午後：ハルビン市内見学（東北烈士記念館・安重根記念館）、日本人残留孤児養父母連絡会の方と夕食交流会⑥午前：ハルビン発 直行便で成田空港に帰着

アメリカ西海岸の最南端に位置するサンディエゴは、穏やかな気候と自然が豊かな観光地として知られています。が、実は海軍基地を中心とする軍事都市でもあります。複数の軍事施設や世界的な兵器製造企業の拠点があるほか、メキシコとの国境には、トランプ政権によって兵士が増員されたばかり。市内の大学機関は、国防総省の軍事研究に深くかかわっています。

一方でサンディエゴには、こうした軍事化に抵抗して活動する組織が数多く存在します。このツアーでは、軍隊による勧誘から若者を守るための教育活動などを行っている「Project YANOJ」のほか、カリフォルニア大学サンディエゴ校でのパレスチナ連帯運動、移民・難民の権利擁護など、さまざまな分野で精力的に活動を続ける人々に案内をお願いします。

トランプ政権下での激動のアメリカと、それに立ち向かう草の根の人々。学びと交流がぎゅっと詰まったツアーです。

coming soon

軍事化とたたかう 草の根運動との 交流の旅

中村みずき
通訳・翻訳家、ライター

アメリカ・サンディエゴの旅 2025年10月企画予定！



San Diego

BOOK

中村みずきさん
訳書！



『勇氣ある女性たち
—性暴力サバイバーの回復する力—』
デニ・ムクウェゲ 著／中村みずき 訳／米川正子 監修
2023年／太月書店

コンゴの紛争で組織的レイプに遭った女性たちを治療するムクウェゲ医師。心身を回復し、社会の構造や矛盾を理解し立ち向かう意思と力を身につけるサバイバーの姿に学び、司法制度や男性性の問題も含め、性差別克服を探究する。

2,750円（本体2,500円＋税）

伊藤千尋さんと行く 非核政策を学び、大自然に触れる ニュージーランドの旅

2026年1月30日(金)～2月6日（日）8日間

ご旅行代金 後日発表 募 25名 催 15名 添

- ◆非核や太平洋諸国との協力関係の政策を進めるニュージーランド国会の見学や平和市民団体と交流します
- ◆先住民マオリの歴史や人権・尊厳について学びます
- ◆マウントクック国立公園でゆっくりハイキングします

- ①空路、成田発、経由地オークランドへ
- ②オークランドにて乗換え、午前首都ウェリントン着、市内見学（国立博物館・マーケットなど）【ウェリントン泊】
- ③国会議事堂見学・平和市民団体と交流【ウェリントン泊】
- ④午後：空路ウェリントンからクライストチャーチへ、市内見学（カートボード大聖堂など）【クライストチャーチ泊】
- ⑤陸路、テカポ湖へ（昼食休憩と自由散策）、マウントクック国立公園へ 夜：星空鑑賞【マウントクック国立公園泊】
- ⑥マウントクック国立公園ハイキング（フッカーバレー・トラック）【マウントクック国立公園泊】
- ⑦夕方まで自由行動 夜、空路クライストチャーチ発、オークランドにて乗換え【機中泊】
- ⑧早朝：成田空港帰国



中村みずきさん 同行・通訳！



サイパン・テニアン 歴史・基地・文化をめぐる先住民との交流の旅

2025年5月18日(日)～5月23日（金）6日間

ご旅行代金 335,000円 燃油別途 募 20名 催 8名 添

- ◆戦前の日本による統治、多くの住民や移民が犠牲となった日米の地上戦の歴史を地元の方の案内で学びます。
- ◆原爆を投下したB29 が発ったテニアン。現在の米軍施設拡張の実態を学びます。
- ◆カヌー建造など先住民の文化を体験します。

- ① 夜、成田発、機中泊
- ② 未明にサイパン着、午前ホテルにて休憩、午後ガラパン地区見学（北マリアナ諸島の歴史、日本統治の歴史を学ぶ）【ガラパン5泊】
- ③ サイパン島北部見学（朝鮮人慰霊平和塔、おきなわの塔、パンザイクリフ、アメリカ記念公園）
- ④ テニアン島への日帰りフィールドワーク（原子爆弾積荷場跡、旧日本軍司令部跡、米軍施設拡張の実態を見学）
- ⑤ 午前：カヌー体験、午後自由行動（OPマニヤガハ島）
- ⑥ 早朝、サイパン発、成田着



グアムの歴史・基地・文化をめぐる 先住民との交流の旅

2025年6月25日(水)～6月29日（日）5日間

ご旅行代金 295,000円 燃油別途 募 20名 催 8名 添

- ◆地元の方のご案内で、観光ブックでは知れないグアムの歴史を学びます
- ◆米軍基地の拡張の実態を学び、リテクザンの森とビーチを散策します
- ◆先住民チャモロの文化に触れ、地元の方と交流します

- ① 成田発、グアムへ着、チャモロビレッジ・ナイトマーケット、【タモン4泊】
- ② 歴史を学ぶ（スペイン・アメリカ・日本植民地統治の歴史を学ぶ）
- ③ 基地問題を学ぶ（海兵隊基地キャンプ・プラズ、実弾射撃訓練場に隣接するリテクザン）
- ④ 自然と文化を体験する（カルチャーセンター、先住民の声を発信するメディアスタジオ）
- ⑤ 午前自由行動（オプションツアーあり）、午後空路、グアム発、夜成田着



マニラ市街戦から80年 日本の戦争加害を学び市民と交流する旅

2025年11月29日(土)～12月3日（水）5日間

ご旅行代金 後日発表 募 20名 催 8名 添

- ◆市民 10 万人が犠牲になったマニラ市街戦について学びます。
- ◆フィリピンの市民団体のメンバーが同行します。
- ◆「リラ・ビリピーナ」（日本軍性暴力被害者の支援団体）と交流します。

- ① 成田発、マニラ着、午後リサール公園見学（国立公園開発委員会の案内、「広島石」など）【マニラ4泊】
- ② マニラ市内（イントラムロス、サンチャゴ要塞、慰霊碑メモラレー・マニラ1945）
- ③ ケソン市内（日本軍性暴力被害者の支援団体と交流、英雄記念博物館など）
- ④ 日本の戦争加害を学ぶフィールドワーク
- ⑤ 午前自由行動、午後空路マニラ発、成田着

戦後80年企画 脱植民地化への連帯を育む旅





ベネズエラ・ボリバル共和国 駐日特命全権大使
Seiko Luis Ishikawa Kobayashi（石川成幸）大使

Q：本日はよろしくお願ひいたします。早速ですが、アフターコロナの中で、今のベネズエラの様子についてお伺いしたいです。

A：ベネズエラは、最近経済がだいぶ回復してきて、3年ほど成長が続いています。国連ラテンアメリカ・カリブ経済委員会（ECLAC）の最近の報告によると、ベネズエラのGDP成長率は2024年に6.2%と、中南米でトップでした。2025年にも域内トップクラスの成長が見込まれています。

インフレも大分落ち着いて、2024年のインフレ率は48%と過去10年ちよつとで最も低い数字になりました。これでベネズエラ経済も少しずつ安定の方に向かっていると思います。

ベネズエラ政府が目指してきたこの経済の多様化、ダイバーシフィケーションは、今まであまりにも石油産業に依存してきたのを、もっと他の分野も育てようというものです。過去に優先的に18セクターに力を入れていこうという政策ができました。農業だとか輸出、石油化学などなど、いろんな分野があるんですけど、

その中で例として挙げられるのの一つが農業で、ものすごい成長を記録しています。ベネズエラが石油産業に依存していた時に、この外貨の収入があることによって食料の輸入依存がすごく強かったんですよ。大

体食料の85%ぐらいが輸入のものだったんですよ。ですが、ベネズエラに制裁が科せられるようになり、ベネズエラの経済はそれはもう大きな打撃を受けて、国として立ち向かっているんな改善をして経済を守らな

なきやいけないっていう意識が強く持たれるようになりました。そこで、いろんな政策と、国民の力によってそれが逆転して、今は90%以上をベネズエラで生産するようになっ

て。例えばベネズエラの中でも、ちよつと経済制裁とコロナの大きな打撃を受けた時に、食料品配布の政策を始めたんです。「クラップ（CLAP）」と言いまして、各コミュニティで委員会を作り、基本的な食料品を一戸一戸に分配する仕組みです。当初は輸入品が9割でしたが、国内生産の増加により、現在ではほぼ100%が国産品となっています。

ピンチは大きなチャンスでもあるということではないかな改善をしてきて、その一つが観光でもあるんですよ。観光にもっと力を入れなきたいということ。最近ですと、海外からの観光客をインバイトして、最近でくつかの国からも、多くの観光客がベネズエラに来て、マルガリータ島とかギアナ高地とか、いろんなところ行っておりまして。最近話題になっているのがインフルエンサーなど、実際にベネズエラに行つて、ベネズエラの良さを語ってる人たち。やっぱり今までベネズエラは危険、または経済危機によつてもう何も物がないというストーリーが流れている中でそれを疑つて、それを見に行きたいっていう人たちがいます。いざ行つてみたらもうみんなすごい活気で、経済も復活してるし、幸せに過ごしてるし、なんだこりやつていうことです。そんな人たちがよく言っていることがあります。ベネズエラで一番危険なのが、あんまりもう楽しくて、人が好きになって、自分の国に帰れなくなるんじゃないかって（笑）。

大使にインタビュー！

日本からも武田裕熙さんという、口笛の国際コンクールで世界一位をとった人がいます。彼もベネズエラの音楽が好きになって、行つてみたら、あんまりにもいろんなところで、ものすごく歓迎してもらつて、話題になって。音楽の力っていうのは、いろんな言葉の違い、文化の壁を乗り越えるだけではなく、人と人の心をつなぐ大事なツールでもあるんじゃないかなと思います。

Q：音楽の繋がりで、エル・システマについてもお伺いできますか、

A：エル・システマは50年ほど前にベネズエラで始まった音楽教育モデルで、今世界中の70カ国以上でインスピレーションを得て始めているところがあります。日本もそうなんです、よく聞かれるのが、何が特別なのか、と。こういう音楽教育って世界中いろんなところでもあります。日本でもスズキ・メソードとかヤマハとかそういう教室もあるし、学校でも音楽教育してるんじゃないかっていう話なんですけど、それはやっぱりベネズエラのエル・システマを創始したアブレウ博士のこだわりがあります。一人のソリストを育てるのではなく、みんな一緒に音楽を学ぶっていうのを大事にしているんです。すなわち、オーケストラに入つてみんなと一緒に学ぶことによって、そこに小さな社会が生まれる。美しいものをみんなと一緒に作ることによって、調和とか規律とか、連帯の気持ちが生まれてくると。小さな社会を作るのと全く同じで、市民を育てるプログラムだと。

だから、ベネズエラでは、これは音楽教育、文化プログラムというよりは社会福祉プログラムなんです。これは国家が全部運営していますので、もう完全に無料、無償です。一人ひとりの子供が自分の意思で音楽をやりたいっていうことであれば、楽器も先生も全部無料、覚える場所も国が面倒を見てくれるということ、今、全国で100万人以上の子供が所属しています。

音楽家を育てるのが目的ではないんですけど、自然に優れた音楽が生まれることになるんですよ。様々なアンサンブルオーケストラがある中で、特別支援プログラムという、障害がある子供たちを対象にしたプログラムもあります。耳が聞こえない子供たち、目が見えない子供たち、知的障害がある子供たち、または健康者の子供たちがみんな一緒になつて音楽を通してインクルーシブな社会を作っていくという取り組みで、このプログラムの見せ場になるのがホワイトハンドコーラスです。

耳が聞こえない子供たちが手話で音楽を作るので、観客から見えやすくするために、白い手袋をつけることから来た名前です。日本でも2017年からこの取り組みが始まり、最初、東京だけだったのが少しずつ京都と沖縄にも広がっています。

昨年の2月には、ウィーン（オーストリア）の財団が主宰するバリアフリーの国際賞「ゼロ・プロジェクト・アワード2024」を受賞し、ウィーンにあるオーストリア議会でも演奏しました。

エル・システマもそうですし、ホワイトハンドコーラスもそうですが、繊細な心を持つ子供たちがこのプログラムを通して自分の表現力を高めていく、またそういうものを見る人たちの気持ちも繋がる部分があるんじゃないかなと思うんですよ。

他にもベネズエラには、ラム酒やカカオ豆、コーヒーなど色々な魅力がありますが、あまりにもベネズエラに関するニュースにバイアスがかかつて、なかなか現実のことが見えにくくなっていることを危惧しています。ベネズエラの国民として、今までこういう経済制裁がある中でどうやって生き延びてきたのか。またはこの政権がどのように今まで続いていて、色々な西洋の圧力に関して、南米とかアフリカ、中東もそうなんですけど、グローバルサウスと言われる国々とうちやうって協力しながら新しい世界を、構造を作っているのか。こういうことを、やっぱり一つの選択情報として皆さんに、特に若い方には見てほしいという想いがありますね。

ベネズエラの今を知る ベネズエラ訪問ツアー 10日間

2025年8月2日（土）～8月11日（月）10日間
旅行代金 後日発表

募 20名 僅 10名 添

【旅程】

①午前：成田発、イスタンブール経由 ベネズエラの首都カラカスへ、機中泊 ②午前：カラカス着、午後：カラカス市内見学、カラカス泊 ③地域共同体Communaの一つである「1月23日地区」を訪問、カラカス泊 ④2泊3日地方都市へ 下記のコースから選択

【Aコース】⑤～⑦メリダ州などの地方都市を視察訪問＜コーヒー農園、カカオ産地など＞

【Bコース】⑤～⑦カナイマ国立公園を擁するギアナ高地を周遊＜エンジェルフォールなど＞

⑧カラカス近郊のサンアグスティンの低所得者共同体バリオを訪問、カラカス泊 ⑨出発まで自由行動 午後、空路カラカス発、イスタンブール経由、機中泊 ⑩午前：成田空港着

学習会

2025年4月20日（日）14時～16時

講師：新藤通広先生（ラテンアメリカ研究者）

会場：富士国際旅行社会議室

テーマ「最新のベネズエラ報告」

- ・現地の最新報告
- ・地域共同体「Communa」について





キューバ共和国大使館
特命全權大使
ヒセラ・ベアトリス・ガルシア・リベラ大使

Q：本日はよろしく申し上げます。

A：よろしく申し上げます。富士国際旅行社とは長い間お付き合いがあり、歴史のある旅行社ですので、これから大いに協力を強めていきたいと思っています。コロナ前の日本からの観光客は一年間に1万4千人くらいでした。それがコロナで完全に無くなって。やっとポストコロナになってまた少しずつ回復しているところですが、まだまだ以前のレベルには到達していません。今年でせいぜい1300人ぐらいなので、非常に少ないです。もともと増やさなければいけないと思っています。というのも、観光収入はキューバにとって非常に重要な分野ですので、これから強めていきたい、昔の水準に戻していきたいと思っています。たくさんさんの日本人観光客がキューバにまた戻ってきてくれるように協力してやっていきたいと思っています。

Q：ありがとうございます。早速ですが、キューバのジェンダー政策や現状はどのような状況ですか？

A：1959年にキューバ革命が勝利しますが、それ以前、女性たちは完全に不平等な立場に置かれていました。革命後

に、女性からジェンダー平等を目指す各種の政策が実施されました。革命前のキューバ女性の置かれた状況は、日本も含めて、どこも似たように家父長的な社会でした。女性の労働は家事労働です。ね。外で働くにしても賃金の低い差別的な待遇以外得られなかった。社会的な進出が非常に制約された状況でした。革命の歴史的指導者という名前で呼ばれているカストロですが、まさに彼はジェンダー平等のために闘ったチャンピオンだったと思います。革命直後からこの不平等をなくさなければいけないと、彼自身が入力して指導し、いろんな課題を克服しました。革命に勝利した1959年の翌年には女性同盟というものが全国的な規模で作られました。すべての女性、あらゆる立場の女性が参加する女性の組織で、女性の権利を守るために活動しました。この間一貫して、女性の権利を守り、そして前進させるための法制化が大々的に行われました。政治にも家事にも女性の参加をより積極的に実現させるために、権利も平等、責任も平等という形で法律を整備してきました。その結果、キューバの国会の女性議員の数は男性よりも多いんですよ。56%が女性議員。それから大卒者の3分の2が女性です。科学アカデミーという学者の組織がありますよね。キューバは世界でも数少ない、女性メンバーが男性メンバーよりも多い国です。特に医療関係、医師、化学分野、科学者などの専門分野では、女性の方が進出しています。それから教育の分野ですね。先生や教授。あとは外交官の進出が非常に、場所によっては女性のほうが多いところがあります。ここ（キューバ大使館）みたいに（笑）。家族法というものが以前からあり、2022年に新しくなりました。この最終的な法案を作る前に、内容を全国的な国民討議にかけました。国民の意見を集約して最終法案ができ、それをさらに国民投票にかけました。2022年に67%の

賛成で新しい家族法が決まりました。現在、世界の家族法の中で、最も近代的と言われています。日本でも今問題になっている夫婦同姓ですが、キューバでは昔から別姓なんです。昔、子供は2つの名字を持っていて、一番目の名字は父親、二番目の名字は母親という順番でした。今度の新しい家族法では、その順番はそれぞれ自由になり、最初の名字を母親の名字にしても良くなりました。それから家庭内の責任、家事の責任も女性だけではなく、男性とまったく平等に半分ずつです。どうしても昔は子どもの育児、親の介護、障害を持った家族がいるときには、世話をするのは女性の方に負担がかかっていたんですが、今は完全に男性も平等に分かち合うと。育児も介護も、半々で責任を持つということ。男性も取得でき、父親も育児に専念できます。そして男女平等賞金。革命直後から、同じ仕事であれば、男女間の賃金差はありませんでした。こういう状況をもたらした基本的な点として、三つの要素があると思います。一つは政治的な意思決定。女性も積極的にそこに参加できるようになったこと。二つ目は法的な基礎がきちんと決まっていること。女性の権利を守る法体制ができています。三つ目は女性同盟を通じて、国のいろんな決定の過程に女性の声が反映されていること。その恩恵を私たちは今受けているわけです。しかしまだこれから克服しなければならない課題が国内的にも対外的にも残っています。まず国内的にはメンタリティーの部分ですね。いろんな法整備ができていますが、新しい考え方に頭がなじまない、ステレオタイプの、昔の考え方をそのまま持っている人たちがまだ多いという課題があります。例えば、責任ある立場、命令するような指導的な立場はまだ女性の数が足りないと思

いますし、これからも変えていきます。外交関係では、女性大使がすごく増えています。最近、外交官も女性が多くなっています。たとえば日本とは、外交関係ができて95年なんです。でも女性大使は今まで一人も来ていませんでした。今回が初めてです。もう一つは外的なもの。それはアメリカからの経済封鎖です。経済封鎖によって、子供も女性もお年寄りも、もちろん男性も、国民全員がものすごく被害を受けています。

Q：アメリカの経済封鎖の影響について、詳しくお聞かせいただけますか？

A：経済・通商・金融封鎖、あらゆる面での封鎖です。これは60年前から始まっています。なぜそれが始まったのかという提案文書が、年数が過ぎたことで秘密解除され公になったのですが、そこにはっきりと目的が書かれています。締め上げて、飢えて苦しめさせると。経済的に不満をおおる。そして最終的には体制崩壊に持っていくのが目的です。文書はメモランダム形式で提案されているのですが、そこには、キューバの革命政府は国民の支持を得ているため、生半可なことでは倒れない。倒すには不満を増大させることだと書かれています。国民を経済的に絶望させる必要があるというのが提案の内容です。それから62年経っていますが、この目的はずっと維持されています。

前トランプ政権時代に、最も経済を痛めつけられるところを狙ってたくさんの方策がとられました。例えば、燃料の輸出をする外国の企業に圧力を加えて、キューバに売らないようにさせたり、船会社や輸送の保険会社に圧力をかけた。キューバに燃料が届かないようにたくさんの方策をしました。それが今も続いています。観光業もキューバにとって重要な収入源だということで、それを締

め付けようと、キューバへのクルーザーでの渡航を禁止するとか、ある期間キューバに行った人がESTAの恩恵を受けられないという方策まで取られてしまいました。トランプ政権が終わるほんの数日前に、キューバはテロ支援国家という非常に不当な、まったく根拠のないリストに加えられてしまいました。これが非常に決定的な力を持っていて、封鎖、締め付けがさらに強いものになったのです。特に、資金、金融、銀行関係がストップしたことで、あらゆるところに影響が出てきています。トランプ政権時代に一挙に締め付けを強化するという方策が取られたわけですが、その次の民主党であるバイデン政権になっても、変えずに残されています。バイデン政権のときにパンデミックが起きましたよね。そのとき、他の国には一時的に締め付けを弱めるという政策を取りましたが、キューバへの締め付けは全く弱めませんでした。たとえば、人口呼吸器の輸出など、他の国には臨時に手加減したものをキューバには一切してくれなかったんです。

今キューバは経済的にも深刻な状況、困難な状況にありますが、封鎖が全ての原因とは言えません。もちろん主体的な問題もあつてのことです。しかし、一番大きな原因はこの封鎖です。封鎖さえなければ、こんな状況にはならなかったということです。つい最近も国連総会で、キューバへの封鎖を撤退してほしいという決議、撤廃要求決議が圧倒的多数で採択されました。32回目です。ほぼ全会一致という点では長年にわたってこの決議に賛成を投じてくれた日本に感謝したいと思います。今年も賛成してくれました。

経済的に非常に厳しい状況だったところに、最近さらに追い打ちをかけた

のが自然災害です。いつもより強いハリケーンが立て続けに来たうえ、地震が二度もキューバを襲ったんです。63年間生きていますが、キューバで地震らしい地震があったのは初めてでした。こうしたことが立て続けにあったので、国内の送電システムがやられて、非常に厳しい状況が続いています。この状況に対して、日本政府が緊急援助を実施してくれること、そして民間でも友好連帯組織の人たちを中心に企業も入り、個人の方々も特別に口座まで開設して運動を進めてくださっていることに本当に感謝しています。

こうした状況下ですが、キューバのアメリカに対する立場は、お互いを尊重しあい、良い関係を築いて、平等な立場で対話をしていきたいというものです。アメリカを含めすべての国と良い関係を持つていくというのがキューバの基本路線です。アメリカ国内にも色んな分野の方々、キューバと良い関係を持たたいという方々がいます。それにキューバも対応していきたい。キューバと関係を持ちたいという人には完全にこちらも手を差し伸べたい。今は厳しい状況ですが、必ず自分たちの力で努力してこの苦境を乗り越えて、前に進みたいと思います。そのもとになるのが国民の団結です。国際的な連帯に感謝しつつ進んでいきます。

Q：本日はありがとうございます。今年はぜひキューバツアーを充実させたいと考えています。

A：ありがとうございます。キューバには色々な魅力がありますので、いわゆる観光だけのツアーだけではなく、テーマのある旅に関心がある皆様に大いにアプローチしていきたいですね。

República de Cuba

年に1度開催！ 革命記念日に訪れるキューバ 11日間

2025年7月21日（月）～7月31日（木）890,000円 燃油別途

募 20名 催 8名 添

①成田発～経由地～タ方ハバナ着【ハバナ3泊】 ②ハバナ市内見学（モロ要塞、革命広場、現地の方と交流）、夜空路、サンチャゴ・デ・クーバへ【サンチャゴ・デ・クーバ泊】 ③午前：自由行動、午後：サンチャゴ・デ・クーバ市内見学（革命の発端となったモンカダ兵営、フィデル・カストロが革命の勝利宣言したセスペデス広場）【サンチャゴ・デ・クーバ泊】 ④陸路、16世紀にスペイン人によって建造されたカマグウェイ。歴史地区を見学【カマグウェイ泊】 ⑤陸路、革命記念式典開催都市近郊の街へ移動、宿泊 ⑥早朝：「7.26革命記念日式典に参加」、陸路で、チェ・ゲバラが眠る地サンタクララへ。【サンタクララ泊】 ⑦午前：サンタ・クララ市内見学（革命広場、ゲバラ霊廟、ゲバラ像）、午後：ハバナへ【ハバナ泊】 ⑧終日：自由行動（OP）【ハバナ泊】 ⑨午前：自由行動、午後ハバナ発、空路経由地へ【機中泊】⑩乗換え、空路、帰国の途へ【機中泊】⑪早朝、成田帰国

◇7月26日のキューバ革命記念日に記念演説会などの記念行事に参加します
◇フィデル・カストロやチェ・ゲバラゆかりの地を訪ね、革命の歴史を学びます

～現地の最新を知り、市民と交流～ キューバの歴史と現在を知る旅 9日間

①2025年9月18日（木）～9月26日（金）855,000円 燃油別途

②2025年11月25日（火）～12月3日（水）855,000円 燃油別途

募 20名 催 8名 添

◇現在も続く米経済制裁下のキューバを訪れ、トランプ大統領就任後、市民の生活にどう影響を与えているか学びます
◇キューバにおけるジェンダー平等を求める運動の歴史を学び、市民団体と交流します。
◇キューバ音楽や料理もお楽しみください♪

①成田発～経由地～タ方ハバナ着【ハバナ3泊】②ハバナ市内見学（モロ要塞、革命広場、クラシックカー乗車体験など）③ハバナ市内視察（市民の生活や教育、社会福祉に関して学べる訪問先を予定）④陸路で、チェ・ゲバラが眠る地サンタクララへ。市内見学（革命広場、ゲバラ霊廟、ゲバラ像）【サンタクララ1泊】⑤陸路、世界遺産シェンフェーゴスの街へ。午後市内見学（ホセ・マルティ広場など）。陸路、再びハバナへ【ハバナ2泊】⑥ハバナ市内にてジェンダー平等を目指す市民団体と交流⑦午前：自由行動、午後ハバナ発、空路経由地へ【機中泊】⑧乗換え、空路、帰国の途へ【機中泊】⑨早朝、成田帰国

伊藤千尋さんで行くスペイン内戦の歴史を学び 平和のシンボル(ゲルニカ)を訪ねる旅



【旅程】

- ①成田または羽田発、経由地、スペインの首都マドリードへ【機中泊】
- ②マドリード市内見学（ゲルニカ鑑賞など）【マドリード2泊】
- ③ジャック白井のゆかりの地を見学
- ④空路、ビルバオへ【ビルバオ2泊】
- ⑤列車でゲルニカへ。ゲルニカ見学（平和博物館など）
- ⑥空路、バルセロナへ。バルセロナ見学（スペイン内戦の跡地、カタルーニャ歴史博物館）【バルセロナ2泊】
- ⑦バルセロナ市内見学（サクラダファミリアなどガウディの建築作品を見学）
- ⑧バルセロナ市内（モンジュイックの丘、ミロの美術館など）見学
- ⑨空路、バルセロナ発、経由地、帰国の途へ【機中泊】
- ⑩成田または羽田帰国

2025年7月27日（日）～8月5日（火）
785,000円 燃油別途

募 25名 催 15名 添



- ◇第二次世界大戦の前哨戦・スペイン内戦の歴史を学びます
- ◇反ファシストの日本人ジャック白井のゆかりの地をたどります
- ◇無差別爆撃があったゲルニカの町訪問と反戦のシンボル・ピカソの名画「ゲルニカ」の鑑賞
- ◇建築家の巨匠「ガウディ」の数々の作品を堪能

スペイン・ポルトガル周遊の旅

2025年10月21日（火）～10月30日（木）10日間
695,000円 燃油別途 募 25名 催 15名 添

- ◇スペインの首都マドリード周辺とポルトガルのニケ国を効率よく周遊します
- ◇マドリードに3連泊、美術館めぐりや近郊都市へのオプションツアーもご用意します
- ◇ポルトガルの4都市を縦断、中世の街並みと海産物を中心とした郷土料理も楽しめます



【旅程】

- ①成田または羽田発、経由地、スペインの首都マドリードへ【機中泊】
- ②マドリード着、午後マドリード中心部見学【マドリード3泊】
- ③マドリード市内見学（王宮・プラド美術館・ピカソの「ゲルニカ」）
- ④フリータイム オプション「古都トレドへの半日旅行」
- ⑤午前：空路、ポルトガル第二の都市ポルトへ 午後：ポルト中心部見学【ポルト2泊】
- ⑥午前：ポルト市内見学（ボルサ宮・エンリケ航海王子の家・ボリャオン市場）
- ⑦午前：ポルトガル第三の都市コインブラ見学、午後：港町ナザレ見学【リスボン2泊】
- ⑧リスボン市内見学（旧市街・ジェロニモス修道院・発見のモニュメント）、リスボン泊
- ⑨オプション「ユーラシア大陸最西端ロカ岬への半日旅行」午後、空路リスボン発【機中泊】
- ⑩成田または羽田帰国



ネルソンマンデラの足跡をたどる 南アフリカの旅



ネルソン・ホリシャジャ・マンデラ(1918-2013)
元・南アフリカ共和国大統領(黒人初の大統領)

1918 誕生

1944 アフリカ民族会議(ANC)青年団を設立、51年に議長

1955 反逆罪で逮捕、裁判中も塙の中から活動

1961 ウムコント・ウェ・シズウェ(民族の槍) 共同設立

1964 国家反逆罪で終身刑 宣告、ロベン島刑務所 投獄

1990 27年ぶりに釈放

1993 ノーベル平和賞受賞

1994 南アフリカ共和国大統領 就任

1999 政界を引退、ネルソン・マンデラ基金 設立

ロベン島 Robben Island
ケープタウン Cape Town

2025年9月10日（水）～9月18日（木）9日間

850,000円 燃油別途 募 15名 催 10名 添

ITINERARY

- | |
|--|
| ①羽田発、シンガポール経由で南アフリカ・ヨハネスブルクへ【機中泊】 |
| ②＜マンデラゆかりの地＞＊アパルトヘイト博物館＊ネルソン・マンデラ記念センターオブメモリー＊マンデラ基金記念館【プレトリア泊】 |
| ③ソウェトへ＜マンデラゆかりの地＞＊マンデラハウス ＊ヘクター・ピーターソン博物館
＊ヨハネスブルグホロコースト&ジェノサイドセンター【プレトリア泊】 |
| ④＜ピラネスバーグ国立公園＞終日、サファリ【プレトリア泊】 |
| ⑤国内線でヨハネスブルグからケープタウンへ【ケープタウン泊】 |
| ⑥午前、船で世界遺産のロベン島へ 見学後、ケープタウンへ＊テーブルマウンテン【ケープタウン泊】 |
| ⑦＜ケープタウン見学＞＊喜望峰 ＊ボルダーズビーチ ＊チャップマンズ・ピーク【ケープタウン泊】 |
| ⑧空路、帰国の途へ【機中泊】 |
| ⑨羽田着（16:00頃予定） |

- ◆人種差別と闘った黒人初の大統領、ネルソン・マンデラの足跡をたどります
- ◆7,000種以上の野生動物が自然のままに暮らしているピラネスバーグ国立公園でサファリ体験！
- ◆ネルソン・マンデラをはじめとする反アパルトヘイトの活動家たちが収容されたロベン島を見学
- ◆喜望峰、ボルダーズビーチなど、ケープタウンの見どころを満喫



興味深いのは、オランダの画家フィンセント・ファン・ゴッホ（1853-90）が、学校の助教師として1876年4月16日から6月23日に、ラムズゲートに滞在していたこと。この地でのスケッチも残っています。そして、エンゲルスはこの時期（5月20日から6月半ば）、ラムズゲートで保養していたのです。500メートルくらいの距離のところ。すれ違うこともあったでしょうが、マルクスが亡くなる直前に保養していたワイト島のヴェントナーにも行ってみたいと思っています。ロンドンでは、2人の定番のゆかりの地を訪問しながら、前向ききれなかった興味深い場所もいくつか開拓する計画です。

移動がきついという方向けに、自由行動を含んだロンドン連泊のコースも設定します。マルクス、エンゲルスが人生の大半をすごしたイギリスは見どころ満載です。ぜひ、ご一緒にしましょう。

マルクス・エンゲルスの足跡をたどる旅 イギリス編

Aコース：2025年8月8日（金）～8月13日（水）6日間

Bコース：2025年8月8日（金）～8月17日（日）10日間

旅行代金 Aコース：658,000円 Bコース：820,000円 募 15名 催 10名 添

①成田発、中東経由でイギリスの首都ロンドンへ、機中泊
②ロンドン着、午後：ロンドン中心部見学、ロンドン泊
③ロンドン市内見学（大英博物館・マルクスの墓・エンゲルスの住居・マルクス図書館）ロンドン泊
④フリータイム ロンドン泊
⑤出発まで自由行動 夜、空路ロンドン発、機中泊
⑥夜：成田空港着（Aコース終了）
【以下Bコース】
⑥午前：イーストボーンへ ブライトン泊
⑦午前：ポーツマス見学、フェリーでワイト島ヴェントナーへ ブライトン泊
⑧午前：ラムズゲート見学 午後：マーゲイト見学、ロンドン泊
⑨出発まで自由行動 夜、空路ロンドン発、機中泊
⑩夜：成田空港着

▶▶▶オンライン学習会動画配信予定！

10日間 伊藤千尋さんで行く リトアニア・ポーランドの旅

2025年 5月28日(水)～6月6日(金) 10日間 595,000円 燃油別途 募 25名 催 15名 添

- ◆「命のビザ」を発給し多くのユダヤ人を救った杉原千畝の記念館を見学
- ◆アウシュビッツを訪れ、ホロコーストの負の歴史を学びます
- ◆ウクライナから避難している方のお話を聞き、現在の問題を学びます

【旅程】

①成田 ✈️ ワルシャワ経由ヴィリニウスへ【機中泊】②ピリニウス着、午後ヴィリニウス市内見学【ヴィリニウス2泊】③カウナス市内見学（杉原千畝記念館、第九要塞博物館）④空路 ✈️ ワルシャワへ、市内見学（ワルシャワ蜂起記念碑）【ワルシャワ2泊】⑤午前：ワルシャワ市内見学（蜂起記念館、ユダヤ人を救った動物園）、午後：ウクライナから避難した人々または支援団体と交流⑥列車でクラクフへ、午後クラクフ市内見学【クラクフ2泊】⑦アウシュビッツ・ビルケナウ博物館見学⑧クラクフ市内見学（シンドラー博物館など）、列車でワルシャワへ、【ワルシャワ泊】⑨終日自由行動（OPご案内）夜、ワルシャワ発【機中泊】⑩夜成田空港着



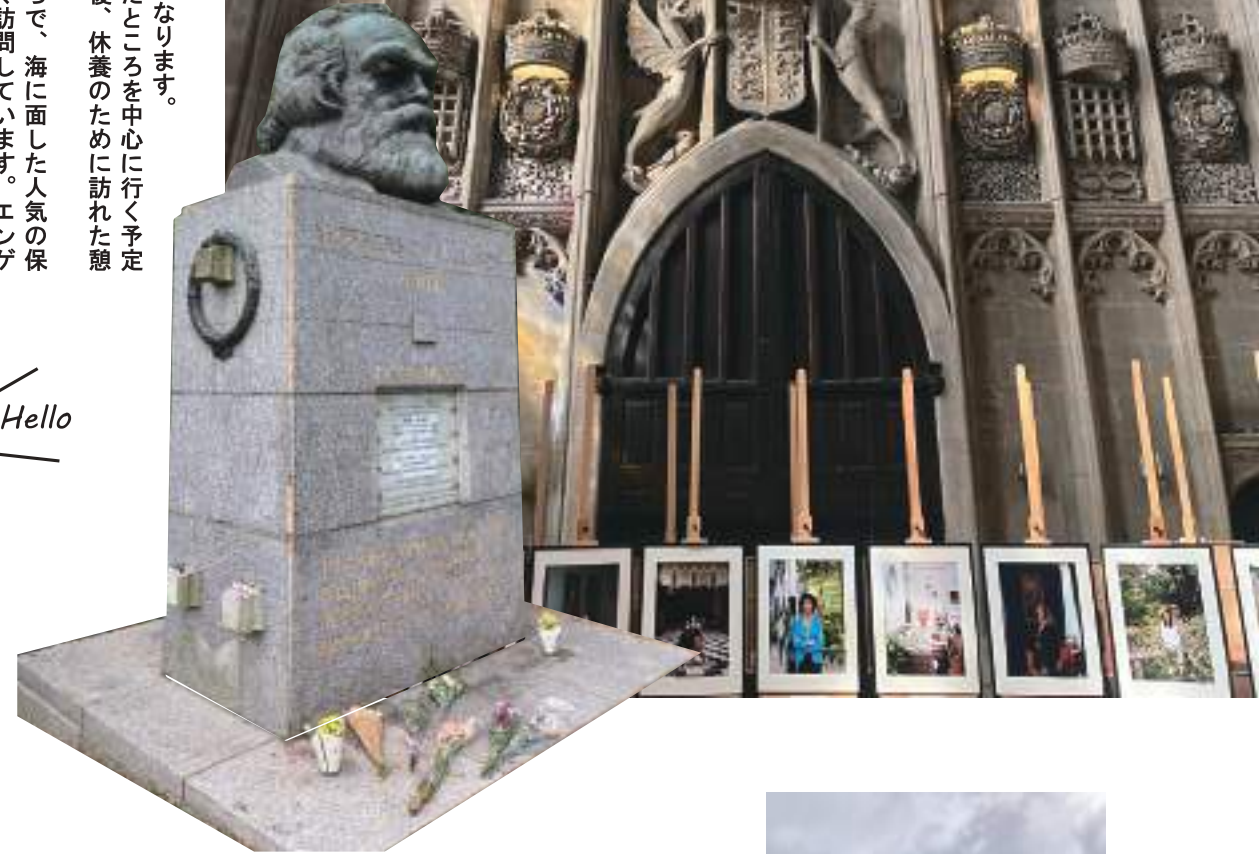
マルクス、エンゲルスのゆかりの地を訪ねるツアーも5回目となります。今回のイギリスは2回目です。1回目では回り切れなかったところを中心に行く予定です。目玉は、マルクス、エンゲルスが保養地として、健康回復、休養のために訪れた憩いの場をめぐることです。

イーストボーンは、ロンドンから南に電車で2時間弱のところで、海に面した人気の保養地です。2人も訪れていますが、圧倒的にエンゲルスが多く訪問しています。エンゲルスが好んで使った宿の建物も残っています。エンゲルスはこの地を愛した証として、亡くなった後、遺灰を白亜の海岸のビーチヘッドの沖合にまいています。このビーチヘッドのあたりは、シャイロック・ホームズが探偵引退後に過ごしたところとして小説で設定されていることでも知られており、モデルとされた建物には記念碑があります。

2人が保養地として何度も利用したのがラムズゲートです。ロンドンから東に電車で2時間強のところ。ここは、マルクスの娘ジェニー夫妻が暮らし、孫のエドガーも生まれています。記念碑もあります。



Hello



『マルクス、エンゲルスのゆかりの地を訪ねて』坂本茂男著

ドイツ・ベルギー・オランダのマルクス・エンゲルスゆかりの場所を紹介したブックレットです。※発行準備中につき、ご興味ある方はお問い合わせください。

10日間 平和・人権・環境・教育・男女平等大国を実現した国 伊藤千尋さんで行くコスタリカ

2026年2月または4月企画予定！

旅行代金：後日発表 募 25名 催 15名 添

【旅程】

①成田発、経由地、サンホセ着【サンホセ7泊】②伊藤千尋さん講演会、国立博物館見学③サラピキ自然保護区でエコツアー④国会、選挙裁判所、ロベルト弁護士と懇談⑤フィゲ雷斯歴史博物館、憲法法院⑥学校訪問、国連平和大学訪問見学⑦世界一美しい鳥ケツァール観察・コーヒー農園⑧サンホセ発、経由地へ【機中泊】⑨経由地発【機中泊】⑩成田帰着



- ◇コスタリカの政治制度・民主主義について学びます。
- ◇学校訪問や国連平和大学の講義を受講し、平和教育について学びます。
- ◇多種多様な動植物の宝庫！エコツアー散策を楽しみます。

戦後80年企画◇ポーランドとドイツを訪ねる アウシュヴィッツスタディツアー

2025年 8月7日(木)～8月16日(土) 10日間 569,000円 燃油別途

募 20名 催 15名 添 同行なし

【旅程】

①成田 ✈️ ワルシャワ【機中泊】②ワルシャワ市内見学（旧市街、ワルシャワ蜂起記念碑、ゲットー記念碑、ゲットー跡）【ワルシャワ泊】③列車でクラクフへ クラクフ市内見学（バルバカン、中央広場、聖マリア教会、バベル城）【クラクフ3泊】④専用車でオシフィエンチムへ 終日：アウシュヴィッツ・ビルケナウ博物館 ⑤ガリツィア・ユダヤ博物館、ワークショップ ⑥列車でベルリンへ【ベルリン3泊】⑦ベルリン市内見学（ブランデンブルク門、ホロコーストメモリアル）ナチズムの歴史博物館「テロのトポグラフィー」 ⑧ナチ強制労働情報センター、民主主義を育む専門機関「連邦政治教育センター」⑨集合まで自由行動 ベルリン ✈️ ワルシャワ ✈️ 成田へ【機中泊】 ⑩夕方：成田着



さらに詳しい行程やツアーの特色について、3/22(土)のオンライン説明会でご案内します。後日視聴も配信予定です。お問い合わせください。



↑ご案内はこちら

戦後80年 負の記憶を継承する アウシュビッツを訪れるポーランド 8日間

2025年

①7月7日（火）～7月14日（火） 555,000円 燃油別途
②9月9日（火）～9月16日（火） 555,000円 燃油別途
③10月8日（水）～10月15日（水） 555,000円 燃油別途

募 20名 催 8名 添

◇ワルシャワ蜂起やホロコーストの史実をしっかりと学びます
◇戦後復興された世界遺産ワルシャワやクラクフの歴史地区を見学します
◇隣国のウクライナから避難した方または支援団体のお話を聞きます。

【旅程】

①羽田または成田発（直行便・経由便にて）
②ポーランドのワルシャワ着。ワルシャワ見学（ワルシャワ蜂起記念碑、旧市街）【ワルシャワ2泊】
③ワルシャワ市内見学（ワルシャワ蜂起博物館）、隣国のウクライナから避難した方または支援団体のお話
④列車でクラクフへ。クラクフ旧市街見学【クラクフ2泊】
⑤終日：アウシュビッツ・ビルケナウ強制収容所見学
⑥列車で再びワルシャワへ【ワルシャワ泊】
⑦ワルシャワ発、直行便または経由便で帰国の途へ【機中泊】
⑧羽田または成田着



ナチズムの歴史資料館

ベルリンでは、二つのナチズムの歴史資料館を訪ねます。一つは、ナチスの恐怖政治の中心であるゲシュタポ(秘密国家警察)やSS(ナチの親衛隊)の本部跡地に建つテロのトポグラフィー。敷地横にはベルリンの壁の一部が残っていて、幾重にも折り重なる歴史を感じます。もう一つ、中心部から列車で南東部へ40分ほどの住宅街にある資料館を訪ねます。ここは強制労働の現場であり、このテーマを専門に扱うドイツ唯一の資料館です。第二次世界大戦時に、2,600万人を超える男女、子どもが占領地から強制労働に駆り出されました。それは、大工、パン屋、醸造所から衣料品店、ゴミ収集や農作業、教会の墓地など、ドイツ市民の目の届く、日常の中で行われていました。

連邦政治教育センター

旅の締めくくりには、民主主義を育み、市民の政治参加を促進することを目的とした専門機関「連邦政治教育センター」を視察します。ナチ時代の反省から、教材の開発や若者歴史対話などの事業に取り組んでいます。Kokoroも参加した2022年の歴史フェスティバルには、72カ国から250名の若者が集いました。ツアーでは職員のレクチャーを聞き、メディアセンターを見学します。

旧東西ドイツ間の格差や右翼の台頭、間近に迫る証言者の不在などの課題を背景に、ドイツではナチズムの歴史の継承は転換期を迎えています。日本の社会やアジアの歴史もふりかえりながら、現地で様々な声を聴いてみませんか。

戦後80年企画◇アウシュヴィッツスタディツアー

ポーランドとドイツ、問いと出会う旅に出かけませんか

石岡史子 いしか・ふみこ

NPO 法人ホロコースト教育資料センター Kokoro 代表

戦後80年の今夏、NPO法人ホロコースト教育資料センター(以下Kokoro)では5年ぶりに社会人アウシュヴィッツスタディツアーを実施します。8月7日から16日まで、ポーランドとドイツを訪ねる10日間の旅です。戦争と暴力が今なお続く世界で、歴史から学ぶとはどういうことか、あらためて問い直してみませんか。団体ツアーだから参加できる見学プログラムでは、現地の歴史家や教育者から学びます。ハイライトをご紹介します。

メモリーウォーク

旅はワルシャワからスタートします。世界遺産の歴史地区や、ポーランド人蜂起の現場、ユダヤ人強制居住区(ゲットー)跡地を歩きながら、第二次世界大戦の重層的な記憶の形と出会います。ご希望の方を「リンゲルブルム・アーカイブ」にもご案内します。ナチ占領下のポーランドで、約45万人のユダヤ人がワルシャワ・ゲットーに閉じ込められます。人々は死を覚悟したとき、ゲットー内の残虐な暴行、略奪、飢えなどの実態を見たままに記録した日記や絵、詩などを地中に深く隠しました。戦後、それらの記録は瓦礫と化したワルシャワの地中から奇跡的に発掘されます。その数は30,000点にも及び、ユネスコの「世界の記憶」に登録されています。

Germany

ベルリン
Berlin

ナチズムの歴史資料館
連邦政治教育センター

アウシュヴィッツ・ビルケナウ博物館

昨年180万人を超える見学者が訪れたアウシュヴィッツでは、博物館公式ガイドの中谷剛さんによるガイドツアーと教育部スタッフによるワークショップと二つのプログラムをご用意しています。ガス室や焼却炉、処刑場などの虐殺の現場を歩くと、なぜこのような悲劇が起きたのかという問いに圧倒されます。教育部スタッフによるワークショップでは、虐殺に繋がる過程をたどりながら、少しずつ見たこと、聞いたこと、五感で体験したことをツアー仲間と共に言語化していきます。



Poland

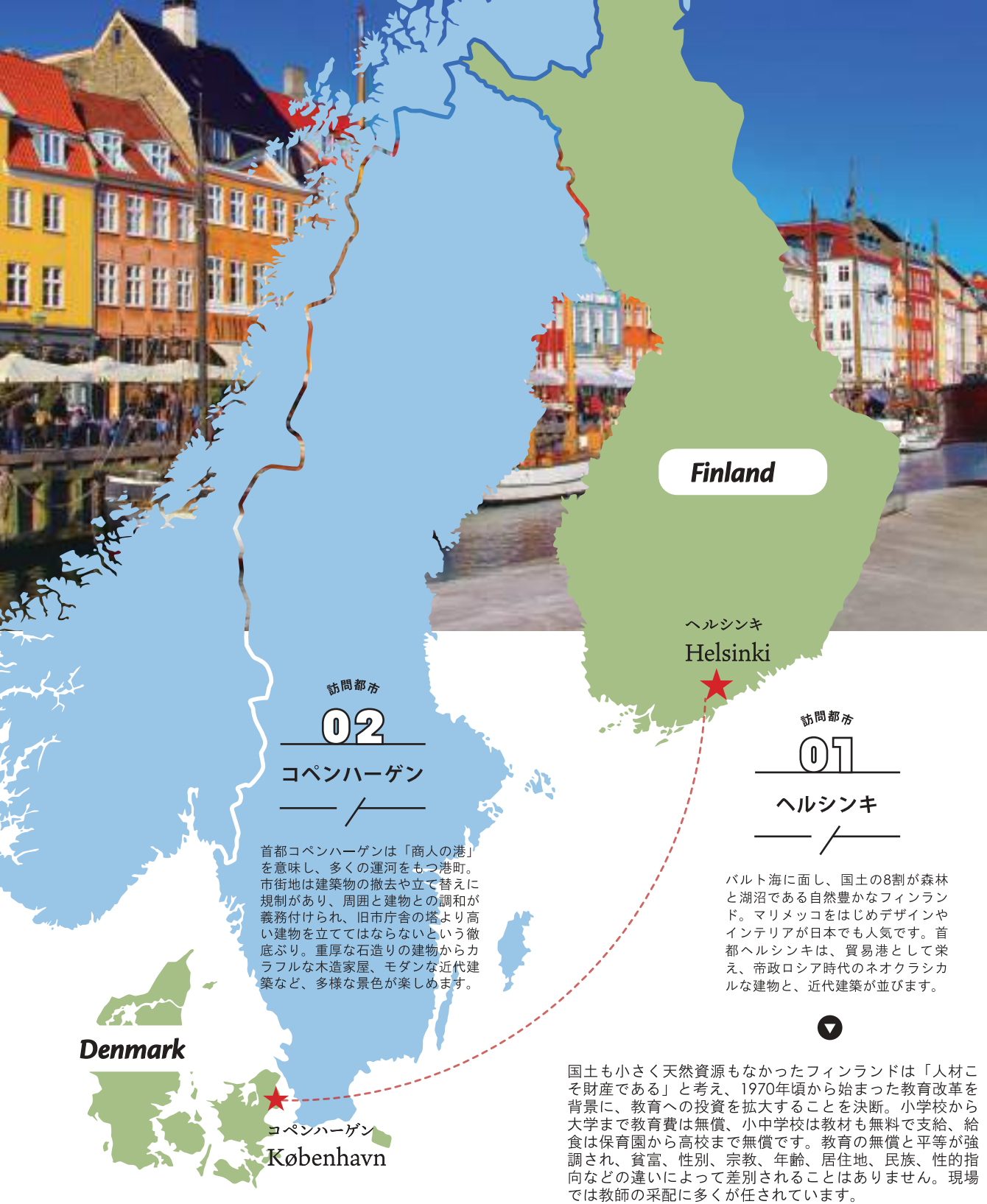
ワルシャワ
Warszawa
メモリーウォーク

オシフィエンチム
Oświęcim
アウシュヴィッツ・ビルケナウ博物館

クラクフ
Kraków
ガリツィア・ユダヤ博物館

ガリツィア・ユダヤ博物館

旧ユダヤ地区のカジミエシュでは、ガリツィア・ユダヤ博物館を見学します。ポーランドのユダヤ系市民の9割が殺されたホロコーストの歴史は、ポーランド人の視点からどのように認識され、受け止められているのでしょうか。廃虚になったユダヤ人墓地や家屋、礼拝所は誰に守る責任があるのか。かつての隣人だったポーランド人か。加害者であるドイツ人か。犠牲者遺族のユダヤ人なのか。または時と共に朽ち果てる運命なのか。記憶の風化をめぐって、様々な問いを発するミュージアムです。



フィンランド・デンマーク 2カ国周遊 8日間

2025年8月25日（月）～9月1日（月）

旅行代金：後日発表

募 20名 催 10名 添

ITINERARY

①夜：成田発、コペンハーゲンへ【機中泊】
②コペンハーゲン市内見学、オーデンセ見学（アンデルセン博物館）【コペンハーゲン泊】
③コペンハーゲン市内見学、地元の人と交流【コペンハーゲン泊】
④空路、ヘルシンキへ、着後、自由行動【ヘルシンキ泊】
⑤ヘルシンキ市内見学、ヌークシオ国立公園ハイキング【ヘルシンキ泊】
⑥教育・福祉関連交流会【ヘルシンキ泊】
⑦空港へ、空路、帰国の途へ【機中泊】
⑧成田空港着

- ★「世界幸福度ランキング」1位2位の北欧2都市をまわり、その理由に迫ります
- ★デンマークではアンデルセンゆかりの地をめぐる
- ★ヘルシンキでは「森と湖の国」のヌークシオ国立公園をハイキング

Suomen tasavalta

Danmark



Republic of Croatia

クロアチアへの旅



旧ユーゴスラビア内戦の史実を学び、息をのむ絶景に出会う ボスニアヘルツェゴビナ・クロアチア 9日間

2025年2025年9月23日（火）～10月1日（水）695,000円 燃油別途

募 20名 催 10名 添

ITINERARY

①羽田または成田発、空路経由地へ、乗換えてサラエボへ【機中泊】 ②午前サラエボ着 市内見学（ユダヤ博物館、ラテン橋など）【サラエボ2泊】 ③終日：サラエボ市内見学（トンネル博物館、人道に対する罪と虐殺に関する博物館、戦火の子ども時代博物館） ④陸路、紛争時にボスニャク人勢力とクロアチア人勢力が川を挟んで対峙し交通を遮断するために破壊・再建された世界遺産モスタルの街を経由して、ドブロブニクへ【ドブロブニク2泊】 ⑤午前：世界遺産・オレンジ色の屋根が並ぶドブロブニクの旧市街を散策、午後：自由行動 ⑥空路、ドブロブニクからザグレブへ 午後：ザグレブ市内見学【ザグレブ2泊】 ⑦日帰りでプリトヴィツェ国立公園へハイキング ⑧空路、経由地へ、乗換えて帰国の途へ【機中泊】 ⑨羽田または成田着

- ◇かつて紛争の中心地で、市民が分断され多くの犠牲を出したサラエボを訪問
- ◇アドリア海の真珠・世界遺産ドブロブニクの街並みと海の幸を楽しむ
- ◇首都ザグレブの歴史散歩や幻想的なエメラルドグリーンの湖プリトヴィツェハイキング

第80回プラハの春音楽祭とウィーン

2025年5月9日（金）～17日（土）
749,000円 燃油別途

募 12名 催 8名 添

- ◇チェコ・フィル演奏、スメタナの傑作「わが祖国」オープニングコンサートを開幕初日に鑑賞します
- ◇当社ならではの！テレジン強制収容所でチェコの歴史を学びます
- ◇芸術・音楽の都ウィーンと世界で最も美しいと言われる世界遺産の町チェスキー・クルムロフに滞在！

①夜：羽田発【機中泊】
②經由地にて乗継 午後プラハ着 「わが祖国」第1楽章題材の地・ヴィシェフラド【プラハ泊】
③プラハ市内見学（カレル橋・プラハ城・旧市街）【プラハ泊】
④自由行動 夜：開幕初日「プラハの春音楽祭」鑑賞【プラハ泊】
⑤テレジン強制収容所、チェスキークルムロフへ【チェスキークルムロフ泊】
⑥チェスキークルムロフ市内見学 ウィーンへ【ウィーン泊】
⑦ウィーン市内見学（国立オペラ座・ロブコヴィッツ宮殿劇場博物館）【ウィーン泊】
⑧ウィーン発 乗継 【機中泊】
⑨夜：羽田着



チャペック兄弟の足跡をたどる旅

2025年11月4日（火）～11月12日（水）
旅行代金：後日発表 募 25名 催 15名 添

- チェコの国民的芸術家、チャペック兄弟の足跡をたどります
- 「悲劇の村」リディツェ村でナチス虐殺の史実を学びます
- 世界遺産の街チェスキー・クルムロフに滞在！



①夜：成田発、經由地にて乗り継ぎ、首都プラハへ【機中泊】
②プラハ着、午後プラハ中心部（プラハ城地区・カレル橋・ユダヤ人地区）見学【プラハ泊】
③プラハ市内見学（チャペック兄弟ゆかりの地）【プラハ泊】
④陸路、プラハの北東20*に位置するナチス虐殺の「悲劇の村」リディツェ村へ 【プラハ泊】
⑤チャペック兄弟の生まれ故郷マレー・スヴァトニョヴィツェへ チャペック兄弟博物館【プラハ泊】
⑥陸路、世界遺産の街チェスキー・クルムロフへ【チェスキー・クルムロフ泊】
⑦チェスキー・クルムロフ見学 【プラハ泊】
⑧プラハ空港へ 空路プラハ発【機中泊】
⑨成田空港着

チャペック兄弟って？

20世紀初頭から活躍した、中欧チェコの芸術家、兄ヨゼフ・チャペック（1887-1945）と弟カレル・チャペック（1890-1938）兄弟。戯曲『R.U.R.』で「ロボット」という言葉を生み出したことで知られています。ヨゼフは画家として、カレルは文筆家として、第二次世界大戦前の不安定な社会において、多くの新聞記事、戯曲、旅行記、批評などを発表しました。

ヒトラーがナチ党の党首となった1921年、ヨゼフはカレルと共にプラハの「リドヴェー・ノヴィニ（人民新聞）」で主筆として働き始めます。それ以降、紙面で数々の風刺漫画を担当しましたが、ナチズムとヒトラーに対する際どい批判により、1939年にナチスに捕えられ、1945年の解放直前にベルゲン＝ベルゼン収容所で亡くなります。

「ダーシェンカ」や「園芸家の12カ月」「こいぬとこねこのおかしな話」など、兄弟の残した作品は現在に至るまで世界各国で愛されています。

チェコ共和国・歴史と平和の旅

①2025年8月19日（火）～8月27日（水）
695,000円 燃油別途 募 25名 催 15名 添

- 首都プラハにたっぷり4連泊、美しい「百塔の町」の風景と歴史を味わいます
- ナチスの強制収容所があったテレジンを訪問し、虐殺の史実を学びます
- 「モラヴィアの真珠」と称されるテルチや中世の町クトナー・ホラも訪ねます

①夜：成田発、經由地にて乗り継ぎ、首都プラハへ【機中泊】
②プラハ着、午後プラハ中心部見学【プラハ泊】
③プラハ市内見学（プラハ城地区・カレル橋・ユダヤ人地区）【プラハ泊】
④テレジン見学（小要塞・ユダヤ人墓地・ゲットー資料館）【プラハ泊】
⑤フリータイム（オプションツアー）【プラハ泊】
⑥午前：中世の町クトナー・ホラ見学 午後：世界遺産都市テルチへ【テルチ泊】
⑦テルチ見学（テルチ城・ザハリアーシュ広場・聖ヤコブ教会）【テルチ泊】
⑧宗教改革運動の街ターボルを見学し、プラハ空港へ 夜、空路プラハ発【機中泊】
⑨夜：成田空港着



OSUSUME BOOK



『独裁者のブーツ イラストは抵抗する』
ヨゼフ・チャペック 著／増田幸弘＋増田集 編訳
2019年／共和国／2,750円（本体2,500円＋税）

エッセイ『園芸家の12カ月』や童話『こいぬとこねこのおかしな話』など、弟カレルとのコラボで日本でも人気の高いチェコスロヴァキアの画家でエッセイスト、ヨゼフ・チャペック（1887-1945）。彼はナチズムがヨーロッパを席捲する危機的な状況のもとで、自由と平和、そして民主主義のために、独自のしなやかなタッチで、連作『独裁者のブーツ』をはじめ、「反ファシズム」をテーマにした1コマ漫画や諷刺画を描きつづけました。本書は当時の新聞紙に掲載された貴重な作品を集成し、強制収容所で没するまでの生涯をたどった、日本語版オリジナル編集です。（本書帯文より）



Dobrý den!

春のフラワー・ハイキング 第2弾

2025年6月24日（火）～7月3日（木）10日間

旅行代金 895,000円 燃油別途 募 12名 催 6名 添

- ◇スイスに来たらまずここ！ マッターホルンとアイガー（ユングフラウ三山）の眺望コース
- ◇アルプ（牧草地）の花が満開の季節 キンボウゲやオキナグサの咲き乱れる季節
- ◇ツェルマット3連泊&ミューレン4連泊！ ゆったりとした日程で無理なくハイキングを満喫
- ◇花の楽園ロープホルン・ヒュッテへのハイキング 三山の眺望とヒュッテの食事を堪能

①成田発、直行便でチューリッヒへ 列車で首都ベルンへ【ベルン泊】②マッターホルン麓の町・ツェルマットへ【ツェルマット3泊】③登山列車で展望台ゴルナーグラートへ・逆さマッターホルンの湖リッフェルゼーへ ④展望台クラインマッターホルンへシュワルツェーからフリーまでのハイキング ⑤アイガー展望の町ミューレンへ【ミューレン4泊】⑥スルワルドからロープホルンヒュッテへ お花畑の中を往復ハイキング ⑦グリンデルワルドの谷に下り、アイガー北壁に迫るアイガーエクスプレスでアイガーグレッシャー駅へ、クライネシャイデック ⑧ケーブルカーで展望台アルメントフォーベルに上り、花の谷、ノース・フェイストレイルを下りミューレンへと戻るフラワーハイキング ⑨列車でチューリッヒ空港へ、チューリッヒ発帰国の途へ【機中泊】⑩成田空港にて解散（午前8：45頃到着予定）

春のフラワー・ハイキング 第1弾

2025年6月12日（木）～ 6月22日（日）11日間

旅行代金 899,000円 燃油別途 募 12名 催 6名 添

- ◇アルプ（牧草地）の花が満開の6月！開花時期の短いアツモリソウの探索！
- ◇人里離れたなまはげの村レッチェンタールのお花畑を歩く
- ◇山村カandelシュテークから“アルプスの宝石”と呼ばれるエッシン湖へ
- ◇アイガー（ユングフラウ三山）を展望できるミューレンに3連泊
- ①成田発、直行便利用でチューリッヒへ 列車でトゥーン湖畔の町シュピーツへ ②シュピーツ市内や湖畔散策 列車とバスを乗り継いで谷奥の山村レッチェンタールへ ③ロープウェイで展望台ラウヒャーンアルプへ ヴェルリッツスタッフエルへハイキング ヴァイスホルンやピーチュホルンなどの山々展望とオキナグサやクロッカスなど春の花を楽しむ ④バスで谷の最奥ファーフラールアルプへ ファーフラールアルプからブラッテンまでのハイキング パラダイスリリーなどのお花畑をのんびり下る ⑤バス、列車を乗り継ぎアイガー展望の町ミューレンへ ⑥スルワルドからロープホルンヒュッテへお花畑の中を往復ハイキング ⑦ケーブルでアルメントフォーベルへ上がり、花の谷とノースフェイストレイルを歩いてミューレンへ ⑧ロープウェイ、列車に乗り継ぎカandelシュテークへ（標高1175m）ゴンドラを利用し、山上の湖 エッシン湖ハイキング ⑨ミニバスでガステルンタール・セルデン(1552m)へ アツモリソウ探索など。Waldhaus (1358m) 迫りくる岩壁を眺めながらのハイキング ⑩列車でチューリッヒ空港へ（ベルン経由） ⑪空路、直行便利用で帰国の途へ ①成田空港にて解散（午前8：45頃到着予定）

スイス建国記念日に 静かな山を楽しむハイキング

2025年7月27日（日）～ 8月4日（月） 9日間

旅行代金 860,000円 燃油別途 募 10名 催 6名 添

- ◇静かな村ズィナール&氷河の村サースフェーに各3連泊でゆっくり滞在♪
- ◇アルプスの真珠サースフェーで野生動物や高山植物に出会うハイキング
- ◇8月1日のスイス建国記念日を現地で過ごします

①成田発、直行便利用でチューリッヒへ 列車でトゥーンへ移動【トゥーン泊】 ②出発まで湖散策など ヴァリス州の秘境ズィナールへ 着後、ソルボワ展望台へ【ズィナール3泊】③ヴィソワ経由でサン・リュックへハイキング ケブルカーでティニューサ展望台へ上がり、ペラトール小屋へ往復ハイキング ④モワリ湖周回ハイキング道 Tour du Lac 2500をモワリダムに向けて歩く ⑤ポストバス、列車を乗り継ぎ、サースフェーへ 着後、ミッテルアラリン展望台へ【サースフェー3泊】⑥サースグルントへ下り、ホーサース展望台へ 中間駅のクロイツボーデンへ下り、アルマゲラーアルプ方面へ往復ハイキング 8月1日はスイスの建国記念日。町は建国記念のお祝いで賑やかです。 ⑦レンクフルー展望台へ 中間駅のシュピールボーデン駅からサースフェーへ下るハイキング ⑧バス、列車を乗り継いでチューリッヒ空港へ 空路、直行便利用で帰国の途へ ⑨成田空港にて解散（午前8：45頃到着予定）

スイスリピーターの方におすすめ！ アレッチ氷河・絶景のアルプスをゆっくり歩く

2025年7月5日（土）～ 7月15日（火）11日間

旅行代金 955,000円 燃油別途 募 12名 催 6名 添

- ◇日本ではあまり知られていないヴェルピエに滞在。3000m級の展望台へご案内。
- ◇アレッチ大氷河末端のリゾートでダイナミックな氷河眺望のハイキング
- ◇カーフリーリゾートの静かな村・ベットマーアルプに3連泊ハイキングを楽しむ
- ◇マッター谷の静かな村・グレヒエン。シュタインボックの住むハニックアルプ展望台へ

①成田発、直行便利用でチューリッヒへ 列車でインターラーケンへ【インターラーケン泊】②ニーダーホルン展望台、列車でリゾートの町ヴェルピエへ【ヴェルピエ2泊】③モンフォー展望台、オートルート的小屋・モンフォー小屋からルイネットへハイキング ④アレッチ氷河末端の町ベットマーアルプへ、ベットマーゼー一周の軽ハイキング【ベットマーアルプ3泊】⑤フィシャーアルプ、エギスホルン山頂へハイキング ⑥モースフルー展望台よりリーダーフルカへハイキング、リーダーアルプ経由でベットマーアルプへ ⑦ヴァイスホルン展望の町 グレヒエンへ【グレヒエン3泊】⑧ハニックアルプからスタッフエル経由でグレヒエンへハイキング、シュタインボック探索 ⑨ハイキング予備日 ⑩バス、列車を乗り継いでチューリッヒ空港へ 空路、直行便利用で帰国の途へ ⑪成田空港にて解散（午前8：45頃到着予定）

スイス・ アルプスの旅

少人数で実施 アルプスの山々をゆったりハイキング



Flower Hiking
Lötschental
Mürren



Swiss International Air Lines
スイス・インターナショナル・エアラインズ直行便利用



Eiger Mönch Jungfrau
Bettmeralp
Zinal

1

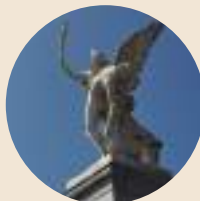
原発を止めた国 ドイツ再生可能エネルギー視察 8日間

2025年8月17日（日）～8月24日（日）785,000円 燃油別途 募 20名 催 15名 添

ITINERARY

①羽田発または成田発、ミュンヘンへ②ミュンヘン着、イザール原発跡見学、現地周辺にて市民運動団体との懇談【ミュンヘン泊】③ミュンヘン市内で「緑の党」関係者との懇談【ミュンヘン泊】④ミュンヘン発、鉄道でシュトゥットガルトへ、ネッカーヴェストハイム原発跡見学【シュトゥットガルト泊】⑤シュトゥットガルト発、ミュンスター・オスナブリュック着、エムスラント原発跡見学【ミュンスター泊】⑥ケルン市内観光【ミュンスター泊】⑦空路、ミュンスター発、ミュンヘンで乗り継ぎ【機中泊】⑧羽田または成田着

◇現地の市民運動団体や「緑の党」関係者の方々と交流
◇最後に稼働を停止した3基の原発を見学します
◇ミュンヘンやケルンの市内観光も！



2

戦後80年 ベルリンゆったり歴史探訪 7日間

2025年9月23日（火）～9月29日（月）690,000円 燃油別途 募 25名 催 15名 添

ITINERARY

①羽田発または成田発、ベルリンへ②終日：ベルリン市内見学（ブランデンブルク門、ベルリンの壁、ホロコースト・メモリアル、テロのトポグラフィーなど）【ベルリン泊】③ベルリン近郊見学（ベルリン・オリンピックシュタディオン、ヴァンゼー会議記念館、ツェツィーリエンホーフ宮殿）【ベルリン泊】④午前：ザクセンハウゼン収容所、午後：ベルリン市内見学（ドイツ抵抗記念館、イーストサイドギャラリー、チェックポイントチャーリーなど）⑤自由行動【ベルリン泊】⑥空路、羽田または成田へ【機中泊】⑦羽田または成田着

◇ベルリン市内、数多くのナチスによる暴力支配の歴史を伝える場所を訪れます
◇1936年ナチス政権下でおこなわれたベルリンオリンピックの会場オリンピックシュタディオンを訪問
◇ヴァンゼー会議記念館、ツェツィーリエンホーフ宮殿にも訪れます



3

戦後80年 ドレスデン空襲とドイツの戦後補償を考える 7日間

2025年11月4日（火）～11月10日（月）旅行代金：後日発表 募 25名 催 15名 添

ITINERARY

①羽田発または成田発、ベルリンへ②終日：ベルリン市内見学（ブランデンブルク門、ベルリンの壁、ホロコースト・メモリアル、テロのトポグラフィーなど）【ベルリン泊】③ポツダム会議が行われたポツダムへ、ツェツィーリエンホーフ宮殿見学 午後：ドレスデンへ【ドレスデン泊】④ドレスデン市内見学（ドレスデン市立博物館、フラウエン教会など）【ドレスデン泊】ライプツィヒへ、ライプツィヒ市内見学【ライプツィヒ泊】⑤ベルリンへ、着後自由行動【ベルリン泊】⑥空路、羽田または成田へ【機中泊】⑦羽田または成田着

◇ベルリン市内でドイツの戦後補償について考えます
◇差別爆撃によって数多くの市民が亡くなったドレスデン空襲。一夜にして街が破壊された歴史を学びます
◇ライプツィヒ観光もお楽しみください

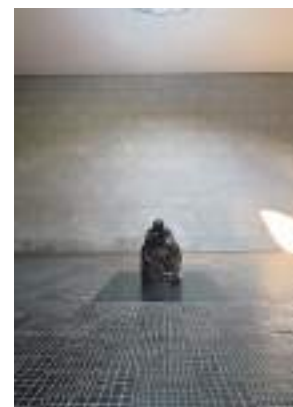


2011年3月の東日本大震災にともなう、福島第一原子力発電所事故をきっかけに、原子力発電所（以下「原発」と略す）についての「安全神話」が崩れ、日本はもとより海外においても、既存の原発をどうするか、という世論が巻き起こった。ドイツ連邦共和国（以下ドイツと略す）は、福島での事故の3か月後にあたる2011年6月に、2022年までに国内のすべての原発を廃炉にすることを決めた。

私の記憶にある原発事故として最初のものは、1979年のアメリカ・ペンシルバニア州のスリーマイル島原発事故である。しかし、その当時、中学生であった私は、十分な科学的知識もなく、また、メディアや学校でも「わかりやすく周知する」ことはされず、なんとなく「スリーマイル島原発事故」という語彙のみが頭に残っていた。

時は過ぎ、1986年4月、チェルノブイリ原発事故が発生した。当時のソ連の情報統制事情もあり、事故発生直後には正確な事故内容が発表されず、私自身、嫌な「もやもや感」を持っていたことをよく覚えている。その当時、私は大学の理学部物理学科3年であり、最終年度の専攻ゼミを選択する立場にあった。私は迷わず「原子核物理学」講座を希望した。当時の私は、「放射能」「核分裂」「原子力」といった用語を説明することすらできなかったからである。

このゼミでは、数学的能力が不足していたため、大学院への進学は諦め



たものの、私が知リたかった内容は十分得られることができた。

大学卒業後、原子力とは全く無縁の機械メーカーに就職し、その企業のドイツ支社駐在員として、1992年から1998年まで、ドイツに住むことになった。当時は、東西ドイツが統一して間もなかったこともあり、旧東ドイツ並びに旧東欧諸国が、西側諸国からの多額の資金流入により発展していく様を目の当たりにした。

ドイツに住んで日本と一番違うと感じたことは「散々議論はするが、決まったことはきちんと守る」ということである。ゴミの分別しかり、店舗の営業時間しかり、アパート居住者の規則しかり等さまざまである。

2023年4月に、ドイツの原発は全て廃止された。この原発廃止に至る過程で、多くの議論がなされてきたことは、先述の通り、ドイツのお国柄から容易に想像できる。2022年末という本来の廃止期限が、ロシアによるウクライナ侵攻を受けて延期されたものの、最終的にドイツは「脱原発」を成し遂げた。



『Morgen Morgen、明日』

2018年製作／71分／日本
監督：坂田雅子

脱原発を宣言したドイツを訪ねるドキュメンタリー。2022年までにすべての原発を廃炉にし、再生可能エネルギーへの転換を決定したドイツでは、多くの人びとが脱原発と自然エネルギーへの移行を実践していた。自らが考え、行動を起こし続けるドイツ市民たちが戦後に歩んだ軌跡をたどり、そこから彼らが見出した「Morgen」（「明日」を意味するドイツ語）への希望に迫っていく。

先般、「モルゲン、明日」という映画を見た。この映画を鑑賞していただくのが、どうしてドイツは国内全ての原発を廃炉にする決めたのに、福島第一原発事故を起こした日本が同じ決断ができないのか」と感じたはずだ。

日本で報道されている事柄だけでは、わからないことがあり過ぎるのではないか。「モルゲン、明日」を制作した監督も、この映画を通じて、より多くの日本人に、原発ゼロへ向かったドイツの人々の声を届けようとしたに違いない。現在、日本においては、原発の再稼働が始まり、原発の新増設の議論も始まっている。もう一度、原発について学ぶとともに、実際に自分の目と耳で、ドイツの実際を知ることが大切なのではないかと自問自答する毎日である。

鳩山 元茂（はとやま・もとしげ）
下野・壬生革新懇 世話人



わたしたち「抱樸」の活動は、北九州市を中心に、1988年12月、数名のボランティアがおにぎりを持ち、路上で暮らす人々を訪ねるところから始まりました。支援を拒まれることもありましたが、年月をかけて通うことで関係性を築き、ホームレスの人の声に耳を傾けることで、ひとつひとつの課題を一緒に考え、乗り越えてきました。ホームレス支援の活動が続ける中で、アパートへの入居が完了しても、その先の生活が孤独だと、酒やギャンブルに頼ってしまい、また路上に逆戻りしてしまうケースが少なからずありました。自立が孤立で終わらず、自立後の生活で生きる意味を見失わずにいるためには、生きがいとなる事柄や他者の存在が必要です。目の前の人に「何が必要か」「誰が必要か」を考え続けた結果、抱樸の活動は自立支援のみに頼らず、出会いから看取りまで人生そのものに伴走するというスタイルになりました。

出会いから看取りまで、
人生そのものに伴走する



▲ 新年吹き出し「追悼集会」で挨拶する奥田理事長



▼ 希望のまち予定地でのイベント風景



広がる格差と常態化する孤立

不景気の煽りを受け、2004年には、一夜の炊き出しで457名の方にお弁当をお渡しすることもありました。しかし、その後は行政と協働で支援に取り組み、北九州のホームレスの数は50名ほどまで減少しました。その一方で、日本の貧困格差は広がっていききました。近年も、非正規雇用の増加や物価高騰により、見えにくい貧困が増加しています。

また、人口減少、少子化、高齢化が課題となっており、急速に進む「単身化」も重要です。いまや全世帯の約4割が単身世帯となっており、日本の社会保障制度は「家族がいる前提」で構築されていることもあり、変化に気づき制度に気づく家族がいなことで支援の枠からこぼれ落ちてしまう人が増えています。たとえ家があっても、頼れる人がいない「社会的孤立」の問題は日々深刻化しています。

希望のまちプロジェクトページ



そこで、抱樸が次に目指すのは、身寄りのない単身者も安心して暮らせる《まち》づくりです。子育てにおいても《まち》が子どもを育てる「ことを目指し、親を孤立させない《まち》づくりを目指します。『希望のまちプロジェクト』は、福岡県北九州市に様々な機能を持った複合型社会福祉の拠点となる建物を建設し、コンセプトとしての《まち》を拡げていく試みです。

「希望のまち」は困った時だけに行く場所ではありません。建物のテーマは「こちやませ」。一階には仕切りのない大ホールがあり、レストランやイベントスペースなど様々な機能が集まります。2階、3階は救護施設と大きな縁側があり、生活困窮者の暮らしの場になります。「希望のまち」では色々な人が自然に交わり、何気ない日常を共にするなかで、「出会いから看取りまで」の時間を分かち合います。希望のまちが目指すのは、従来の「家族」という枠を超えた《まち》全体の新しいつながりー大きな「なんちゃって家族」です。

わたしたちは「希望のまちプロジェクト」を通じて、全国に先駆け北九州の地で「地域共生社会」のモデルを実現し、「希望のまち」を全国に広げていきたいと思っています。この取り組みを成功させるためには、皆さまの支えが必要です。あなたも希望のまちの一員になりませんか？

大きな「なんちゃって家族」をつくる



【旅程】

①羽田または成田発（直行便・経由便にて）、夜アムステルダム着【アムステルダム4泊】 ②終日：市内のアンネゆかりの地を見学（順不同：アンネが暮らしたメルヴェデプレイン、「日記」買ったイミンク書店、アンネ・フランク学校、「日記」守ったミープ・ヒースの家、ユダヤ人学校跡、「隠れ家」とその周辺、西教会前のアンネ像、ユダヤ人劇場跡） ③終日：アンネゆかりの地（ホロコースト博物館、ゲシュタポ本部、アムステルダム中央駅、ダム広場、王宮、シナゴークや港湾労働者の像、ユダヤ人博物館、ユダヤ人地区など） ④陸路、通過収容所があった、ヴェステルボルクへ。記念館見学、再びアムステルダムへ ⑤空路、アムステルダム発、ポーランドのクラクフへ。クラクフ旧市街見学【クラクフ2泊】 ⑥終日：アウシュビッツ・ビルケナウ強制収容所見学 ⑦早朝、列車で、ワルシャワへ。空路、アムステルダム経由でベルリンへ。【ベルリン泊】 ⑧午前：ベルリン市内見学、列車でハノーファーへ【ハノーファー泊】 ⑨陸路、アンネ・フランク終焉の地、ベルゲンベルゼン見学。陸路、再びベルリンへ【ベルリン泊】 ⑩ベルリン発、直行便または経由便で帰国の途へ【機中泊】 ⑪羽田または成田着

11
日間

～オランダ・ポーランド・ドイツ～
戦後80年企画 アンネ・フランクの足跡を訪ねる旅

2025年 8月18日(月)～8月28日(木) 11日間

旅行代金：後日発表

募 20名 催 10名 添

◆「隠れ家」前のアンネの学校生活から「隠れ家」に住んでから終焉の地までのアンネゆかりの地を訪ねます。
◆アンネ・フランクの生涯からホロコーストについて考えます。



10
日間

戦後80年・レジスタンス運動を学びイタリア3大都市をめぐる
ローマ・フィレンツェ・ヴェネツィア

①2025年7月7日（月）～16日（水）

②2025年11月10日（日）～11月19日（水）

750,000円 燃油別途

募 20名 催 10名 添

◆戦後80年、パルチザンの抵抗運動の歴史やファシズム下のホロコーストの史実を学びます
◆古代遺跡が数多く残る首都ローマ・ルネッサンスの芸術文化や建築が残る花の都フィレンツェ・運河が巡らされた水の都ヴェネツィアの街をめぐるります。



【旅程】

①空路、成田または羽田発、経由地、ローマへ【機中泊】 ②午前：ローマ着、ローマ市内見学（コロッセオ、フォロロマーノ、トレヴィの泉、スペイン階段など）【ローマ3泊】 ③終日：ローマ市内見学（ナチにより335人のレジスタンスや市民が洞窟で殺されたフォッセ・アルデアティーネの虐殺の碑、記憶と歴史の家など） ④終日：ローマ市内で自由行動（OPヴァチカン見学） ⑤列車でフィレンツェへ、フィレンツェ市内見学（ウフィツィ美術館、ドゥオーモ、メディチ家礼拝堂、共和国広場、ヴェッキオ橋、シニョーリア広場）【フィレンツェ2泊】 ⑥フィレンツェ市内見学（ユダヤ人博物館、シナゴーク、ファシズムの影響を受けた建造物など） ⑦列車でヴェネツィアへ、ヴェネツィア見学（サン・マルコ広場、ドゥカーレ宮殿）【ヴェネツィア2泊】 ⑧終日自由行動（OPカラフルな家々が立ち並び絵本のような可愛らしい島・ブラーノ島） ⑨空路、ヴェネツィア発、経由地、帰国の途へ、機中泊 ⑩成田または羽田帰国



Peace 北海道 平和の旅

伊藤千尋さんで行く

北海道の「憲法9条の碑」を訪ねる 札幌・登別・室蘭をめぐる旅

2025年9月8日（月）～9月11日（木）4日間
159,000円 募 30名 催 15名 添

◇2023年に室蘭市に建立された「憲法9条の碑」を訪ね、地元の方と交流します
◇北海道大学ではアイヌ納骨堂や宮澤レーン事件に関する史跡を見学します

①羽田 ✈️ 新千歳空港 白老町（国立アイヌ民族博物館など）、登別泊
②午前アイヌで初めてアイヌの物語を文字化した『アイヌ神謡集』の著者知里幸恵の記念館、午後「室蘭憲法9条の碑」「平和都市宣言の碑」、つくる会の方と交流、再び札幌へ 札幌泊
③北海道大学見学と宮澤・レーン事件関連地見学（ビー・アンビシヤス9条の会、宮澤・レーン事件を考える会の方のご案内）、タ方空路、新千歳空港発、羽田着



Green 国内 自然・山の旅

高山植物の宝庫・日本百名山

鳥海山・月山トレッキング 4日間

2025年8月24日（日）～8月27日（水）
173,000円

募 15名 催 5名 添

◇専属ガイド同行・山小屋泊の「鳥海山」登山
雄大な景色をお楽しみ下さい
◇山麓周辺の人々の支えである出羽富士の歴史・信仰・文化を学びます
◇山形の郷土料理や温泉でゆっくりおくつろぎください

【旅程】

①午前：羽田 ✈️ 庄内、獅子ヶ鼻温泉散策【鳥海温泉泊】
②鳥海山登山上り（高低差1100m、6km、往路：約5時間半）【山頂小屋泊】
③鳥海山登山下り（高低差1100m、8km、復路：約5時間）鶴岡市へ（藤沢周平記念館）【志津温泉泊】
④午前：月山登山（高低差約500m、9km、往復3時間）
午後：庄内 ✈️ 羽田



はこだてピースマップの旅

明治初期から昭和20年敗戦までの函館ツアー

2025年6月10日（火）～6月12日（木）3日間
129,000円 募 20名 催 10名 添

◇明治の初めから昭和20年の敗戦まに至るまでの、函館における戦争の歴史を地図にした『はこだてピースマップ』に基づき函館を巡ります
◇地元の方から函館の歴史のお話を伺います
◇地元のお魚や郷土料理をお楽しみください

①羽田空港 ✈️ 函館空港 函館市内見学（五稜郭公園・函館護国神社・碧血碑
津軽要塞・津軽要塞司令部・津軽海峡など 講演会【湯川温泉泊】
②東浜棧橋跡（蟹工船事件と北洋漁業基地）→陸上自衛隊函館駐屯地→函館警察署跡（言論統制—函館地方文化事件）港町埠頭（朝鮮人・中国人強制連行）など 【湯川温泉泊】
③江差見学（旧中村家住宅・開陽丸など）函館空港 ✈️ 羽田空港

レブンアツモリソウの季節・稚内直行便を利用！

礼文島・利尻島 花散策 5日間

①2025年5月25日（日）～5月29日（木）

②2025年6月19日（木）～6月23日（月）

①235,000円 ②245,000円 募 20名 催 10名 添

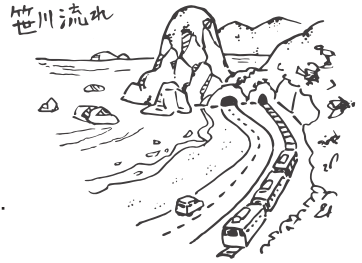
◇礼文島・桃岩展望台から利尻島を眺めながらゆったりハイキング
◇利尻島では姫沼やオタマリ沼を含む島内一周観光
◇北海道ならではの新鮮なうに丼や海鮮料理もお楽しみください

①羽田 ✈️ 稚内 稚内港 船 礼文島【礼文島2泊】
②ゴロタ岬・花散策 約12km 約4時間
③午前：桃岩歩道・花散策 午後：礼文島 船 利尻島【利尻島2泊】
④午前：利尻島内観光 午後：自由行動
⑤午前：宗谷岬見学 午後：稚内 ✈️ 羽田



多くの人に知ってもらいたい

「水俣病のこと」「被害者の痛み苦しみ」「裁判のこと」



新潟水俣病の「現在（いま）」を歩く
県立環境と人間のふれあい館（新潟水俣病資料館）を見学、資料館スタッフの案内で昭和電工鹿瀬工場から垂れ流された水銀混じりの汚水によって阿賀野川が汚され、川魚を多食した人々が次々と水俣病を発症した歴史を学びました。
午後にはノーモア・ミナマタ第2次新潟訴訟原告団副団長の福地幸二さん（76歳）のお話を聴きました。
68年前、私の生まれた年1956年5月1日に公式確認された熊本県水俣市のチツソの廃液による水俣病。水俣病のことを考える時に、もしも自分が水俣に生まれていたら、阿賀野川沿いに生まれていたらと考えま

私たちが新潟水俣病被害者の救済を求めて146人の原告患者とノーモア・ミナマタ第2次訴訟を闘って10年。昨年4月に新潟地方裁判所で47人の分離判決が出され、原告被告双方の控訴で東京高裁での闘いが継続される中、多くの人に「水俣病のこと」「被害者の痛み苦しみ」「裁判のこと」等を知ってもらいたいとの思いで「秋の越後を訪ねる旅」の案内を受けることにしました。
当日は京都や東京、そして地元新潟も含むツアー参加者の皆さんが資料館の見学、新潟水俣病患者の福地幸二さんの話、新潟水俣病の原因となった水銀を垂れ流した旧昭和電工の鹿瀬工場跡地、東北電力鹿瀬発電所、排水口を見学、私たちの説明を熱心に聞いていただきました。「鹿瀬工場で働いていた人数は」等の質問がいろいろ寄せられ、皆さんの関心の強さに驚き、患者会の訴えが受け入れられたことに感謝しました。
阿賀野患者会機関紙に寄稿いただいた川口重雄さん（川崎市在住）さんの文章を紹介します。

県境の村上市に流れる三面川に秋の季節、この川で生まれて大海原で育ったシャケが戻って来ます。「イヨボヤ会館」でその姿が見られます。
シャケの骨や身の捨てるところがない様々な料理が食べられますし、「メ張鶴」「大洋盛」の地酒も有名、市内には佐渡島に落ちる夕日が眺められる瀬波温泉も素晴らしいです。
是非、富士国際旅行社の「初夏の新潟をめぐる旅」においていただいて、新潟水俣病患者さんのお話を聞いて下さい。

新新潟水俣病阿賀野患者会事務局長

酢山 省三（すやま・しょうぞう）

富士国際旅行社「大人の学習体旅行in九州」2日目に水俣相思社 永野三智さんの案内でJNCと名前を変えたチツソ水俣工場正門や百間溝などを見学し、同い年の坂本しのぶさんのお話を聴きますが、いつも思うのは「私はあなただ」ということ。1960年3月に中学校を卒業された福地さんは63年頃に体の異変に気付いたと。第二の水俣病、新潟水俣病が公表される2年前のことです。以来、61年の歳月を経て静かに闘っている人が目の前にいます。
座学に続いて酢山省三さん（原告団事務局長）の案内で、鹿瀬工場の排水口、東北電力鹿瀬発電所、そして往時、人口1万人の鹿瀬町で2500人が働いていたという広い工場の敷地の見える坂道へ。来年も来よう、水俣病は過去のことだという人こそ連れて来ようという遅い秋景色を見ながら思いま



新潟県立環境と人間のふれあい館 - 新潟水俣病資料館 -

旅程

① 新潟駅（12:00頃集合予定） →新潟水俣病資料館・新潟水俣病患者のお話 【新潟市内泊】
② 新潟水俣病関連地フィールドワーク（昭和電工鹿瀬工場跡地・排水口・鹿瀬発電所）→笹川流れドライブ【瀬波温泉泊】
③ 村上まちづくりフィールドワーク →新潟駅（16:00頃解散予定）

初夏の新潟をめぐる

新潟水俣病を学び鮭の町村上を訪ねる3日間

2025年7月6日（日）～7月8日（火）
89,000円

募 20名 催 10名 添

◆新潟水俣病について、資料館見学、関連地フィールドワークを通して学びます。
◆鮭の町村上を訪れ、まちづくりについて学びます。
◆郷土料理をお楽しみください

Okinawa

沖縄



県民投票の会・代表元山仁土郎さんと行く
「慰霊の日」に訪ねる沖縄の旅

4日間

2025年6月20日（金）～23日（月）
129,000円

募 40名 催 15名 添

- ◇沖縄全戦没者追悼式に参加します
- ◇米軍が最初に上陸した慶良間諸島の戦跡をめぐる
- ◇普天間・嘉手納・辺野古を見学し、新基地建設問題を考えます

【旅程】

- ①各地空港発、那覇空港へ。屋頃那覇空港集合、午後中部北部の見学（読谷村・嘉手納基地・佐喜真美術館・普天間基地）、夕食参加者交流会
- ②慶良間諸島（座間味島・渡嘉敷島）の戦跡めぐり
- ③北部見学（恩納村第二護郷隊の碑、辺野古、収容所跡、紅型工房）
- ④シュガーローフ・前田高地見学、平和祈念資料館、「沖縄全戦没者追悼式に参加」、ひめゆり資料館見学、夜那覇発、各地空港へ



戦後80年 沖縄戦を学ぶ3日間

3日間

①2025年6月15日（日）～6月17日（火）
②2025年8月27日（水）～8月29日（金）
96,000円

募 25名 催 15名 添

- ◇戦後80年、住民を巻き込んだ沖縄戦から戦争とは何かを学びます
- ◇南部・中部の戦跡をフィールドワーク
- ◇当社おすすめの沖縄料理屋にご案内

- ①羽田 ✈ 那覇
＜南部戦跡見学＞嘉数高台・前田高地・首里城公園【那覇2泊】
- ②南風原文化センター・糸数の壕・平和祈念公園、うるま市戦跡（海軍砲台跡・平敷屋の高射砲陣地跡など）
- ③【那覇市内見学】対馬丸記念館・不屈館 那覇 ✈ 羽田

石垣・与那国・宮古3島をめぐる
平和交流の旅

4日間

①2025年5月25日（日）～5月28日（水）
②2025年6月29日（日）～7月2日（水）
③2025年9月28日（日）～10月1日（水）
④2025年12月25日（木）～12月28日（日）
193,000円

募 20名 催 10名 添

- ◇石垣・与那国・宮古島の3島を訪れ、南西諸島で進む自衛隊配備問題を考えます
- ◇それぞれの島に暮らす方々と交流し、暮らしに及ぼす影響について直接お話を伺います
- ◇島ならではの風景・郷土料理・民謡もお楽しみください

【旅程】

- ①羽田空港発、直行便または経由便で石垣島へ、石垣島内見学（戦争マラリア犠牲者慰霊碑、石垣島自衛隊駐屯地、地元の方からのお話）【石垣泊】
- ②石垣空港発、与那国島着、与那国島内見学と地元の方との交流【与那国泊】
- ③与那国空港発、石垣島着（八重山平和祈念館）空路宮古島へ、宮古島内見学（宮古島自衛隊駐屯地、憲法九条の碑）【宮古島泊】
- ④宮古島・伊良部島・下地島見学、下地島空港または宮古島空港発 直行便または経由便で羽田空港へ

国内・テーマのある旅

南西諸島を
めぐる旅

pick up

Yonaguni

Miyako

Ishigaki

Okinawa

Amami

奄美大島 歴史・文化・交流の旅

4日間

①2025年6月10日（火）～6月13日（金）
②2025年11月11日（火）～11月14日（金）
189,000円

募 10名 催 20名 添

- ◇奄美の戦跡巡り、現在の自衛隊配備問題について学びます。
- ◇本土と沖縄の影響を受けながらも独自の文化を築いた奄美文化を学びます。
- ◇奄美の郷土料理や黒糖焼酎を楽しみ、スローライフを味わいます。

- ①羽田 ✈ 奄美大島 ＜奄美の生活・文化を学ぶ＞奄美パーク、田中一村記念美術館、りゅうがく館【奄美大島3泊】
- ②＜奄美の戦争の歴史を学ぶ＞古仁屋周辺の戦跡巡り、フェリーで加計呂麻島へ 安脚場戦跡公園見学、男はつらいよ撮影地
- ③＜現在の問題を学ぶ＞陸上自衛隊基地周辺を見学、自衛隊配備問題について地元の方からのお話、黒糖焼酎製造工場見学、大島紬の工房見学
- ④＜奄美の自然文化を学ぶ＞黒潮の森マングローブパーク、世界遺産センター 奄美大島 ✈ 羽田

Amami-Oshima

奄美大島



石川

能登半島地震災害から1年
被災地の今と能登の歴史を知る
能登半島と金沢を訪ねる旅

4日間

2025年9月7日（日）～9月10日（水）

119,000円 募 25名 催 15名 添



◇奥能登の珠洲市、輪島市で能登半島地震の被災地を訪問し、復興状況と課題を学びます。

◇かつての反戦作家、反基地闘争、原発問題など、能登半島の歴史や史実を検証します。

◇能登半島の自然や風景を満喫し、旬の海鮮や地元ならではの食事を楽しめます。

【旅程】

①羽田✈能登空港 珠洲市の被災地フィールドワークに参加【和倉温泉泊】

②復興したのと鉄道に乗車（七尾⇄穴水）・輪島市中心部訪問・志賀原発周辺【千里浜泊】

③千里浜ドライブウェイ・かほく市（治安維持法で逮捕され獄死した反戦作家鶴彬資料館）、内灘町（70年前の反米軍基地「内灘闘争」について当時を知る地元の方の話）【金沢泊】

④自由行動 金沢市内周遊バスで散策 タ方：小松空港✈羽田

兵庫

「赤とんぼ」作詞者
三木露風の故郷を訪ねる旅

3日間

伊藤千尋さんと行く歌のある旅

2025年11月25日（火）～11月27日（木）

85,000円 募 30名 催 15名 添



◇童謡作家・三木露風ゆかりの「たつの市」をじっくり見学します

◇兵庫県の「憲法9条の碑」や日本民俗学の父・柳田國男記念館を見学します

【旅程】

①午後姫路駅集合、専用車でたつの市へ（赤とんぼの歌碑、三木露風のゆかりの地をめぐる）【たつの市2泊】

②終日：たつの市見学（龍野歴史文化資料館、男はつらいよロケ地）

③午前福岡町「憲法9条の碑」、柳田國男記念館見学、姫路駅解散

④午後姫路駅集合、専用車でたつの市へ（赤とんぼの歌碑、三木露風のゆかりの地をめぐる）【たつの市2泊】

⑤車窓から（如己堂、浦上天主堂など）→平和公園（平和祈念像、原子爆弾落下中心の碑、被爆当時の地層、朝鮮人犠牲者追悼碑など）、→原爆資料館→端島（軍艦島）クルーズ→長崎人権平和資料館

⑥ホテル発→名護屋城博物館 福岡 ✈ 羽田

群馬
栃木

田中正造ゆかりの地をめぐる
足尾鉍毒事件を考える旅

2日間

2025年7月1日（火）～7月2日（水）

58,000円 募 25名 催 15名 添



◇田中正造ゆかりの地をめぐり足尾鉍毒事件を考えます

【旅程】

①東京駅八重洲口→旧谷中村合同墓地→旧谷中村史跡ゾーン→佐野市郷土博物館→田中正造生家→田中正造記念館【館林市内泊】

②足尾銅山関係（車中見学）→龍蔵寺、雲竜寺、庭田清四郎宅（田中正造終焉の地）→東京駅解散

九州

鹿児島・水俣・天草・長崎を巡る
大人の学習体験旅行in九州

6日間

2025年7月1日（火）～7月6日（日）

255,000円 募 25名 催 15名 添



◇映画『ちやわんやのはなし』に登場する鹿児島県日置市東市来町美山の沈壽官窯や同じく朝鮮王国から連行された焼き物師の末裔・東郷茂徳の記念館などを訪れます。

◇水俣を1日かけてじっくりフィールドワーク。患者さんの講話も。

◇天草下島では世界遺産となった天主堂2つ、天草キリシタン館を訪問

◇長崎の原爆遺構見学、軍艦島クルーズも！

【旅程】

①羽田✈鹿児島空港→山田（始良市）凱旋門→壽官陶苑→元外相東郷茂徳記念館→いちき串木野市朝鮮人陶工上陸之地碑→九州電力川内原子力発電所→ホテル着【川内市内泊】

②水俣フィールドワーク（相思社、歴史考証館、患者さん講話、水俣湾親水公園（埋立地）、百間排水口、JR水俣駅、茂道地区など）→湯の児半島大崎鼻公園（不知火海、八幡残渣プールなど遠望）【水俣市内泊】

③蔵之元港 牛深港→崎津→大江→天草ロザリオ館→天草キリシタン館→下田温泉【下田温泉泊】

④鬼池港 口之津港 口之津歴史民俗資料館・同分館→原城フィールドワーク（有馬キリシタン遺産記念館、原城址史跡めぐり）→山川剛さん講演会【長崎市内2泊】

⑤車窓から（如己堂、浦上天主堂など）→平和公園（平和祈念像、原子爆弾落下中心の碑、被爆当時の地層、朝鮮人犠牲者追悼碑など）、→原爆資料館→端島（軍艦島）クルーズ→長崎人権平和資料館

⑥ホテル発→名護屋城博物館 福岡 ✈ 羽田

熊本

自主防災を考える
熊本震災から学ぶ旅

4日間

2025年6月15日（日）～6月18日（水）

169,000円 募 15名 催 10名 添



◇草の根目線の防災アドバイザー同行

◇熊本地震、豪雨災害地をめぐり、自主防災を考えます

◇天守閣が完全復旧した熊本城を見学

◇温泉とお食事もお楽しみください♪

【旅程】

①羽田発 ✈熊本 熊本地震震災遺構めぐり、防災アドバイザー講演会【阿蘇温泉泊】

②旧東海大学阿蘇キャンパス震災ミュージアム見学、益城町へ、益城町震災遺構めぐり、熊本市へ【熊本市内泊】

③熊本県防災センター、熊本城見学、人吉温泉へ【人吉温泉泊】

④人吉球磨地域豪雨災害被災地めぐり、球磨川くだり 熊本 ✈羽田

島根

～隠岐の島・中ノ島・西ノ島～
隠岐諸島をめぐる交流の旅

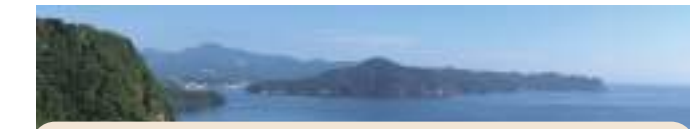
5日間

①2025年6月22日（日）～6月26日（木）

②2025年9月21日（日）～9月25日（木）

羽田発着：225,000円 募 25名 催 10名 添

伊丹発着：205,000円



◇島の歴史や文化・自然について学びます。

◇町おこしに取り組む中ノ島海士町を見学。地場産業や教育の取り組みを学びます。

◇西ノ島では、実話に基づく映画『ラーゲリより愛を込めて』の主人公・山本幡男氏ゆかりの地を見学

◇隠岐諸島ならではの自然景観・郷土料理をお楽しみください

【旅程】

①羽田✈伊丹✈隠岐空港、隠岐の島見学（自然館、地元の方から隠岐の歴史や自然についてのお話）【隠岐の島町2泊】

②隠岐の島見学（日露戦争と隠岐諸島の関わり、竹島問題を学ぶ見学地）

③フェリーで海士町へ。海士町の町おこしの取り組みを学ぶ。フェリーで西ノ島へ【西ノ島2泊】

④山本幡男ゆかりの地をめぐり

⑤フェリーで隠岐の島町へ、隠岐空港✈伊丹✈羽田

国内ツアー

大阪
京都

鶴橋とウトロを訪ねる
歴史と文化の旅

2日間

2025年5月17日（土）～5月18日（日）

48,000円 募 20名 催 10名 添



◇大阪市生野区にある大阪コリアタウン歴史資料館を訪れます。◇鶴橋に宿泊、かつて「猪飼野」と呼ばれた地域をフィールドワーク ◇2日目は京都・宇治のウトロ平和記念館を訪問。ウトロの歴史を学びます。

【旅程】

①鶴橋駅集合、大阪コリアタウン歴史資料館、生野区・猪飼野フィールドワーク【鶴橋泊】

②ホテル発、京都・宇治へ、ウトロ平和記念館を見学、ウトロ地区フィールドワーク、京都駅解散

高知

ビキニデーin高知2025に参加
ひがしこうちを巡る旅

4日間

2025年5月9日（金）～5月12日（月）

128,000円 募 20名 催 10名 添



◇ゆずドリンクで有名な馬路村を散策

◇ビキニデーin高知に参加。室戸におけるビキニ事件の実態を知るフィールドワークに参加します。

◇廃校を利用したむると廃校水族館お訪れます。

【旅程】

①羽田✈高知 馬路村散策【室戸2泊】

②ビキニデーin高知に参加

③室戸フィールドワーク【高知市内泊】

④高知市内（自由民権記念館・平和資料館草の家など）高知空港 ✈ 羽田空港